

愛知県美術館年報

目次

主要記事	4
収集・保存・管理	
1 収集.....	5
収集方針	
収集委員会	
新収蔵品と収集の状況	
所蔵作品全体の状況	
美術品等取得基金について	
近年の収集と2022年度の新収蔵品	
新収蔵品一覧	
新規寄託品と寄託の状況	
2 保存.....	16
保存事業の実施	
3 管理.....	17
作品の管理	
作品の貸出	
貸出の概要	
木村定三コレクションの調査研究	
藤井達吉関係資料の調査研究	
所蔵作品情報の公開	
施設・設備の管理	
展示・教育普及	
1 所蔵作品の展示公開.....	19
コレクション展の概要	
コレクション展の開催状況と入場者数	
コレクション展等の関連イベント及びメディア掲載	
コレクション展の展示作品リスト	
移動美術館	
サテライト展示	
2 企画展.....	36
企画展の開催状況	
これまでの企画展一覧	
3 関連事業.....	47
国際芸術祭「あいち2022」	
4 映像事業.....	48
アートフィルム・フェスティバル	
愛知芸術文化センター・愛知県美術館オリジナル映像作品の制作	
5 教育普及.....	49
教育普及事業の実施状況	
出版・発行	
事業関連イベント	
教育プログラム	
博物館実習生の受け入れ	
学生アシスタントの受け入れ	
美術館友の会への協力	
調査研究	53
防災	56
ギャラリー（貸館）	57
美術館ギャラリー利用状況	
利用団体一覧	
組織および職員構成	60
関係委員会名簿	61

主要記事

2022年	4月1日(金)	第1期コレクション展開幕(会期—7月3日(日))
	4月29日(金)	企画展「ミロ展——日本を夢みて」開幕 (会期—7月3日(日))
	6月29日(水)	愛知県美術館専門委員会開催
	7月30日(土)	「国際芸術祭「あいち2022」STILL ALIVE 今、を生き 抜くアートのちから」開幕(会期—10月10日(月・祝))
	8月4日(木)	愛知県美術館専門委員会第1回ギャラリー部会開催
	8月10日(水)	愛知芸術文化センター運営会議開催
	8月23日(火)	第26回アートフィルム・フェスティバル開幕 (会期—9月13日(火))
	9月1日(木)	愛知芸術文化センターシェイクアウト訓練実施
	9月17日(土)	岩瀬文庫(西尾市)で「愛知県美術館・愛知県陶磁美術 館 移動美術館2022 もじもえもじも」開幕 (会期—11月27日(日))
	10月29日(土)	第2期コレクション展および企画展「ジブリパーク開園 記念 ジブリパークとジブリ展」開幕(会期—12月25日(日))
	11月15日(火)	愛知県美術館美術品収集委員会開催
2023年	1月7日(土)	美術品等取得基金の特別枠で購入した若手作家作品公開 についてプレスリリース発出
	1月14日(土)	第3期コレクション展および企画展「展覧会 岡本太郎」 開幕(会期—3月14日(火))
	2月14日(火)	愛知県美術館防災訓練実施
	2月16日(木)	「ピカソ「青の時代」の油彩画《青い肩かけの女》の下 層に別の人物像を発見」プレスリリース発出
	2月21日(火)	愛知県美術館専門委員会第2回ギャラリー部会開催
	3月11日(土)	全国美術館会議東海ブロック災害時情報伝達訓練実施
	3月20日(月)	愛知県美術館美術品収集委員会オリジナル映像部会開催

収集・保存・管理

1 収集

収集方針

- ・20世紀の優れた国内外の作品及び20世紀の美術動向を理解する上で役立つ作品
- ・現在を刻印するにふさわしい作品
- ・愛知県としての位置をふまえた特色あるコレクションを形成する作品
- ・上記の作品・作家を理解する上で役立つ資料

収集委員会（委員名簿は61頁）

美術品収集委員会：2022年11月15日（火）

オリジナル映像部会：2023年2月22日（火）

新収蔵品と収集の状況

上記の収集方針にそって58件の作品を購入し、20件の作品の寄贈を受け、3件の作品を管理替えし、合計81件の作品を新たに収蔵した。

分野	購入	受贈	管理換え等
日本画	2	7	0
絵画	28	4	0
水彩・素描	7	2	0
彫刻・立体	2	3	0
インスタレーション	3	1	0
版画	6	1	2
写真	4	0	0
映像	5	0	1
工芸	0	0	0
書	0	0	0
考古遺物	0	0	0
資料	1	2	0
計	58	20	3

※単位はすべて件数

所蔵作品全体の状況

(2023年3月末現在／単位：件)

	日本画	絵画	水彩・素描	彫刻・立体	インスタレーション	版画	写真	映像	工芸	書	考古遺物	資料	合計
旧愛知県文化会館から引き継いだもの	購入	101	320	238	26	0	64	0	0	0	0	43	792
	寄贈	30	57	72	3	0	34	0	0	0	0	22	218
	寄贈 (藤井達吉コレクション*)	405	10	3	0	0	10	0	952	70	0	9	1,459
	移管	18	15	0	0	0	0	0	0	0	0	9	42
愛知県美術館が収集したもの (-2022年度)	基金購入	40	203	153	160	15	338	70	70	5	0	18	1,072
	寄付金購入	3	6	2	0	0	2	0	0	0	0	0	13
	一般財源購入	0	15	14	12	0	6	0	0	0	0	0	47
	寄贈	77	262	330	101	4	714	216	16	4	1	61	1,786
	寄贈 (木村定三コレクション**)	582	252	186	228	0	148	0	0	1,231	219	239	3,307
	管理換え等	9	5	0	3	0	4	0	7	0	0	3	31
管理換え等 (藤井達吉コレクション)	3	0	0	0	0	0	0	0	5	0	10	18	
旧文化情報センターから引き継いだもの	管理換え等	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	23
合計	1,268	1,145	998	533	19	1,320	286	116	2,197	290	239	397	8,808

※点数と件数で異なっていた作品数について、平成26年度末に件数で統一した。

※1件として登録されていた版画作品174点を、平成29年度に174件として分割した。

*「藤井達吉コレクション」：愛知県文化会館の開館（昭和25年）前後に、愛知県出身の工芸家藤井達吉氏（1881-1964）及び同氏の支援団体から寄贈された、同氏の作品を主とするコレクション。

**「木村定三コレクション」：名古屋市の著名な美術品収集家木村定三氏（1913-2003）及び御遺族から寄贈された、同氏のほぼ全コレクション。愛知県美術館本来の収集方針に合致する小川芋銭や熊谷守一などの近・現代美術のほか、重要文化財6件を含む江戸絵画、仏教美術、陶磁器、茶道具、漆工芸、考古遺物など多岐に亘る日本と東アジア地域の美術を主としている。

美術品等取得基金について

愛知県美術館と愛知県陶磁資料館（現愛知県陶磁美術館）が、芸術的価値の高い美術品等を機動的、継続的に収集するための財源として1988（昭和63）年4月に設置された。基金には、県からの積立金のほかに、美術品等の収集を支援する民間からの寄附金が含まれている。

運用状況

2023（令和5）年3月末現在

基金総額		124億1747万2151円
運用内訳	美術品	*113億8987万1187円
	現金	10億2760万964円

*うち美術館所蔵作品は、1,085件

近年の収集と2022年度の新収蔵品

美術品等取得基金による購入は、2007～2009年度に3か年で陶磁資料館（現：陶磁美術館）と合わせ1億2千万円（内、美術館9千万円）という執行枠が設けられた。以降3年間で9,000万円執行枠の中で作品購入を行い、2022年～2023年度についても同様である。

2022年度より新たに3か年9千万円の執行枠で、コレクションをさらに多面化し充実させる作品や、日常的な調査・研究活動を通して出合った作品などの収集を行った。これらの継続的な収集活動に加え、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて活動を制限せざるを得ないアーティストを支援すべく、2020年度から基金に3か年で1億円の特別枠が設けられ、若手作家の現代美術作品を収集してきた。3年度目にあたる2022年度には11組の若手作家・グループの作品を購入した。

新収蔵品一覧

作品データは、掲載番号、分野に続けて、作家、タイトル、制作年、技法・材質、寸法（平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行、映像作品は時間、画面比率）を和英で記載し、所蔵作品登録番号、寄贈者名を付した。

購入作品（基金・通常）（33件）

1 日本画

片岡球子
曼珠沙華

1936年
紙本着色
112.2×81.6 cm

KATAOKA Tamako
Red Spider Lilies
1936
color on paper
112.2×81.6 cm

JJ202200001000



2 日本画

森村宜稲
明治天皇収穫観覧之図

1932年
紙本着色
148.2×119.3 cm / 総寸291.5×143.0 cm（軸首含まず）

MORIMURA Gito
The Emperor Meiji Viewing the Harvest
1932
color on silk
148.2×119.3 cm / Mounting total 291.5×143.0 cm (not including shaft)

JJ202200002000



3-1 絵画（日本）

浅井裕介

混血——その島にはまだ言葉がありませんでした

2019-2020年
鹿の血・墨・土・ペンキ、画布
367.0×444.2 cm

ASAI Yusuke
Mixed Blood - The Verbal Communication is Not Yet Born in the Island
2019-2020
dear blood, india ink, soil and paint on canvas
367.0×444.2 cm

JO202200001000



3-2 絵画（日本）

浅井裕介

野生の星

2019年
鹿の血・墨、画布
183.0×295.8 cm

ASAI Yusuke
The Wild Planet
2019
dear blood and india ink on canvas
183.0×295.8 cm

JO202200001001



3-3 絵画（日本）

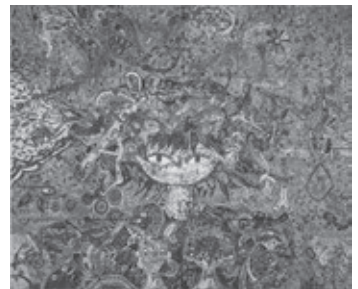
浅井裕介

その島にはまだ言葉がありませんでした

2020年
土・ペンキ・墨、画布
367.0×444.2 cm

ASAI Yusuke
The Verbal Communication is Not Yet Born in the Island
2020
soil, paint and india ink on canvas
367.0×444.2 cm

JO202200001002



4 絵画（日本）

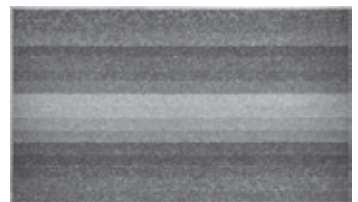
味岡伸太郎

本坂地質調査16-1

1995年
土・ボンド、画布
186.0×320.0 cm

AJIOKA Shintaro
Geological Survey of the Honzaka Pass, 16-1
1995
soil and glue on canvas
186.0×320.0 cm

JO202200002000



5 絵画（日本）

大塚泰子

Colorless

2009年
グロスマedium、画布
72.7×60.6 cm

OTSUKA Yasuko
Colorless
2009
gloss medium on canvas
72.7×60.6 cm

JO202200004000



6 絵画 (日本)

大塚泰子
Colorless

2009年
グロスメディウム、画布
80.3×60.6 cm

OTSUKA Yasuko
Colorless
2009
gloss medium on canvas
80.3×60.6 cm

JO202200005000



11 絵画 (日本)

ノ口燐
胎芽その刻印

1964年
油彩、画布
145.5×112.0 cm

NORO Rin
Marking of the Embryo
1964
oil on canvas
145.5×112.0 cm

JO202200014000



7 絵画 (日本)

登山博文
不詳

1995年頃
油彩、画布
73.0×61.0 cm

TOYAMA Hirofumi
unknown
ca1995
oil on canvas
73.0×61.0 cm

JO202200010000



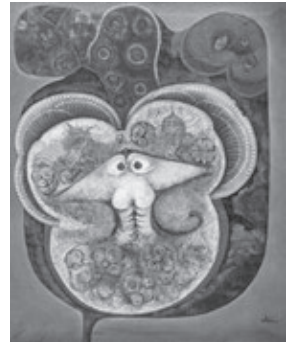
12 絵画 (日本)

ノ口燐
胎芽とその兇星の寓話

1966年
油彩、画布
162.0×130.0 cm

NORO Rin
The Fable of the Embryo and the Malefic
Star
1966
oil on canvas
162.0×130.0 cm

JO202200015000



8 絵画 (日本)

登山博文
Bellis Perennis

1997年
油彩、画布
120.0×120.0 cm

TOYAMA Hirofumi
Bellis Perennis
1997
oil on canvas
120.0×120.0 cm

JO202200011000



13 絵画 (日本)

花木彰太
corner plane (18-4)

2018年
アクリル、アルミニウム・MDF
130.0×10.0×5.0 cm

HANAKI Shota
corner plane (18-4)
2018
acrylic on aluminum and MDF
130.0×10.0×5.0 cm

JO202200016000



9 絵画 (日本)

登山博文
0040-1

2002年
アクリルウレタン塗料、アルミニウム
190.0×120.0 cm

TOYAMA Hirofumi
0040-1
2002
acrylic urethane on aluminum
190.0×120.0 cm

JO202200012000



14 絵画 (日本)

花木彰太
constellation (ANTLIA)

2019年
アクリル、アルミニウム
58.5×41.0 cm

HANAKI Shota
constellation (ANTLIA)
2019
acrylic on aluminum
58.5×41.0 cm

JO202200017000



10 絵画 (日本)

登山博文
drawing | tableau V

2008年
アクリルウレタン塗料、画布
240.0×164.0 cm

TOYAMA Hirofumi
drawing | tableau V
2008
acrylic urethane on canvas
240.0×164.0 cm

JO202200013000



15 絵画 (日本)

花木彰太
constellation (CAELUM)

2019年
アクリル、アルミニウム
76.0×23.0 cm

HANAKI Shota
constellation (CAELUM)
2019
acrylic on aluminum
76.0×23.0 cm

JO202200018000



16 絵画 (日本)
花木彰太
constellation (PICTOR)

2019年
アクリル、アルミニウム
61.0×12.0 cm

HANAKI Shota
constellation (PICTOR)
2019
acrylic on aluminum
61.0×12.0 cm

JO202200019000



21 絵画 (日本)
花木彰太
border (20-3)

2020年
アクリル、MDF
40.0×40.0×8.5 cm

HANAKI Shota
border (20-3)
2020
acrylic on MDF
40.0×40.0×8.5 cm

JO202200024000



17 絵画 (日本)
花木彰太
constellation (SCULPTOR)

2019年
アクリル、アルミニウム
77.8×40.3 cm

HANAKI Shota
constellation (SCULPTOR)
2019
acrylic on aluminum
77.8×40.3 cm

JO202200020000



22 絵画 (日本)
花木彰太
border (20-4)

2020年
アクリル、MDF
40.0×40.0×8.5 cm

HANAKI Shota
border (20-4)
2020
acrylic on MDF
40.0×40.0×8.5 cm

JO202200025000



18 絵画 (日本)
花木彰太
constellation (NORMA)

2020年
アクリル、アルミニウム
52.5×46.9 cm

HANAKI Shota
constellation (NORMA)
2020
acrylic on aluminum
52.5×46.9 cm

JO202200021000



23 絵画 (日本)
花木彰太
border (20-5)

2020年
アクリル、MDF
40.0×40.0×8.5 cm

HANAKI Shota
border (20-5)
2020
acrylic on MDF
40.0×40.0×8.5 cm

JO202200026000



19 絵画 (日本)
花木彰太
border (20-1)

2020年
アクリル、MDF
40.0×40.0×8.5 cm

HANAKI Shota
border (20-1)
2020
acrylic on MDF
40.0×40.0×8.5 cm

JO202200022000

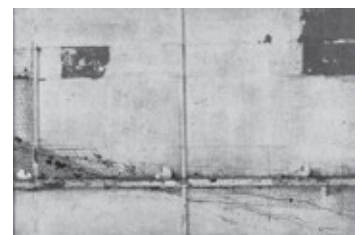


24 絵画 (日本)
櫃田伸也
過ぎ行く風景

1979年
油彩、画布
61.0×91.0 cm

HITSUDA Nobuya
Passing Landscape
1979
oil on canvas
61.0×91.0 cm

JO202200027000



20 絵画 (日本)
花木彰太
border (20-2)

2020年
アクリル、MDF
40.0×40.0×8.5 cm

HANAKI Shota
border (20-2)
2020
acrylic on MDF
40.0×40.0×8.5 cm

JO202200023000



25 彫刻・立体 (日本)
大塚泰子
水の彫刻

2018年
クレパス、木
122.0×243.0×72.0 cm

OTSUKA Yasuko
Sculpture of Water
2018
oil pastel on wood
122.0×243.0×72.0 cm

JS20220001000



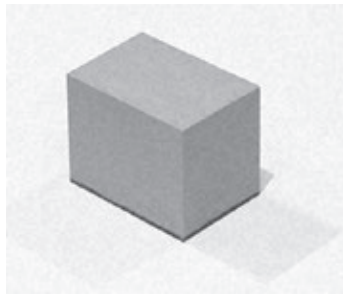
26 彫刻・立体 (日本)

大塚泰子
空の彫刻

2019年
クレパス、木
4.5×6.2×4.5 cm

OTSUKA Yasuko
Sculpture of the Sky
2019
oil pastel on wood
4.5×6.2×4.5 cm

JS20220002000



29-3 版画 (海外)

エウダル・セラ
日本・韓国の5つのスケッチ

1940年
木版、紙
51.5×40.8 cm

Eudald Serra
Five Drawings of Japan and Korea
1940
woodcut on paper
51.5×40.8 cm

FP202200002003



27 インスタレーション (日本)

栗木義夫
Glove Stand

2008年
鉄・陶/油彩、画布
200.0×200.0×280.0 cm (インスタレーション
サイズ)

KURIKI Yoshio
Glove Stand
2008
iron and ceramic/oil on canvas
200.0×200.0×280.0 cm

JJ202200001000



29-4 版画 (海外)

エウダル・セラ
日本・韓国の5つのスケッチ

1940年
木版、紙
51.5×40.8 cm

Eudald Serra
Five Drawings of Japan and Korea
1940
woodcut on paper
51.5×40.8 cm

FP2022000020014



28 版画 (海外)

ナタリア・ゴンチャロワ

「サルタン王と、その息子、ほまれ高い、たくましい勇士グウイドン・サルターノヴィチ公と、まことに美しい白鳥の王女の話」

1921年
ステンシル、紙
29.7×23.0 cm

Natalia GONCHAROVA
Tale of Tsar Saltan and his son the glorious
and powerful Prince Guidon Saltanovitch
and his beautiful Princesse Swan
1921
stencil on paper
29.7×23.0 cm

FP202200001000



29-5 版画 (海外)

エウダル・セラ
日本・韓国の5つのスケッチ

1940年
木版、紙
51.5×40.8 cm

Eudald Serra
Five Drawings of Japan and Korea
1940
woodcut on paper
51.5×40.8 cm

FP202200002005



29-1 版画 (海外)

エウダル・セラ
日本・韓国の5つのスケッチ

1940年
木版、紙
51.5×40.8 cm

Eudald Serra
Five Drawings of Japan and Korea
1940
woodcut on paper
51.5×40.8 cm

FP202200002001



30 写真 (日本)

城戸保
駐車空間 (駐車空間) シリーズより

2017年
発色現像方式印画
29.4×44.4 cm

KIDO Tamotsu
Parking Space from the series of "Parking
Space"
2017
chromogenic print
29.4×44.4 cm

JF202200002000



29-2 版画 (海外)

エウダル・セラ
日本・韓国の5つのスケッチ

1940年
木版、紙
51.5×40.8 cm

Eudald Serra
Five Drawings of Japan and Korea
1940
woodcut on paper
51.5×40.8 cm

FP202200002002



31 写真 (日本)

城戸保
駐車建築 (駐車空間) シリーズより

2020年
発色現像方式印画
150.0×119.0 cm

KIDO Tamotsu
Parking Architecture from the series of
"Parking Space"
2020
chromogenic print
150.0×119.0 cm

JF202200003000



購入作品（基金・特別枠設置による若手芸術家支援）（25件）

32 写真（日本）
城戸保
木と車（駐車空間）シリーズより

2020年
発色現像方式印画
90.0×135.0 cm

KIDO Tamotsu
Tree and Car from the series of "Parking Space"
2020
chromogenic print
90.0×135.0 cm

JF202200004000



34 絵画（日本）
今井俊介
untitled

2017年
アクリル、画布
144.0×385.0 cm

IMAI Shunsuke
untitled
2017
acrylic on canvas
144.0×385.0 cm

JO202200003000



33 資料（海外）

シュタイナー社製ウィーン工場のテキスタイル見本帳

1910年頃
生地
フォルダ：20.0×15.0×8.0 cm
テキスタイル：13.5×16.5 cm（全42点）

S.E. Steiner & Co., Fabric Pattern Book of the Wiener Werkstätte ca1910
fabric
Folder：20.0×15.0×8.0 cm
Textile：13.5×16.5 cm

FM202200001000

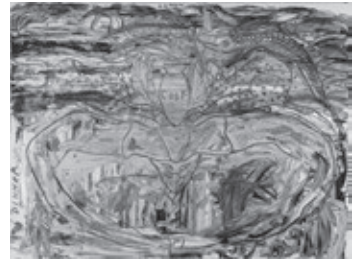


35 絵画（日本）
川内理香子
Cook

2022年
油彩、画布
194.0×259.0 cm

KAWAUCHI Rikako
Cook
2022
oil on canvas
194.0×259.0 cm

JO202200006000



36 絵画（日本）
柴田麻衣
tent "morning"

2017年
アクリル、パネル
100.0×100.0 cm

SHIBATA Mai
tent "morning"
2017
acrylic on panel
100.0×100.0 cm

JO202200007000

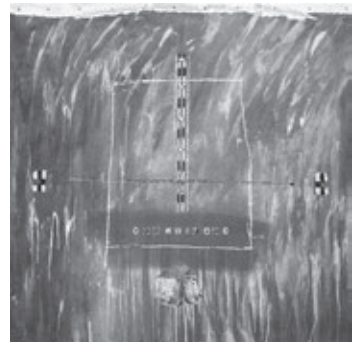


37 絵画（日本）
柴田麻衣
tent "noon"

2017年
アクリル、パネル
100.0×100.0 cm

SHIBATA Mai
tent "noon"
2017
acrylic on panel
100.0×100.0 cm

JO202200008000



38 絵画（日本）
柴田麻衣
tent "night"

2017年
アクリル、パネル
100.0×100.0 cm

SHIBATA Mai
tent "night"
2017
acrylic on panel
100.0×100.0 cm

JO202200009000



39 絵画 (日本)
三瓶玲奈
色を見る

2022年
油彩、画布
194.0×162.0 cm

MIKAME Reina
Looking at the Color
2022
oil on canvas
194.0×162.0 cm

JO202200028000



40 水彩・素描 (日本)
鈴木悠哉
archegraph study_Minato

2016年
色鉛筆、紙
21.0×28.0 cm (50点)

SUZUKI Yuya
archegraph study_Minato
2016
colored pencil on paper
21.0×28.0 cm (50 works)

JD202200001000



41 水彩・素描 (日本)
谷澤紗和子
はいけい ちえこ さま 一太陽—

2021年
アクリル、紙、アクリル板、解体された家屋
の廃材
96.0×97.0×5.0 cm

TANIZAWA Sawako
Dear Chieko, Sun
2021
acrylic paint on paper, acrylic board, scrap
wood of old house
96.0×97.0×5.0 cm

JD202200002000



42 水彩・素描 (日本)
谷澤紗和子
はいけい ちえこ さま 一うちなるこゑたまし
いにさく—

2021年
アクリル、紙、アクリル板、解体された家屋
の廃材
96.0×96.0×5.0 cm

TANIZAWA Sawako
Dear Chieko, My heart is listening to the
inner voice
2021
acrylic paint on paper, acrylic board, scrap
wood of old house
96.0×96.0×5.0 cm

JD202200003000



43 水彩・素描 (日本)
谷澤紗和子
はいけい ちえこ さま 一土産—

2021年
アクリル、紙、アクリル板、解体された家屋
の廃材
86.0×88.0×5.0 cm

TANIZAWA Sawako
Dear Chieko, Souvenir
2021
acrylic paint on paper, acrylic board, scrap
wood of old house
86.0×88.0×5.0 cm

JD202200004000



44 水彩・素描 (日本)
谷澤紗和子
はいけい ちえこ さま 一柘榴—

2021年
アクリル、紙、アクリル板、解体された家屋
の廃材
86.0×88.0×5.0 cm

TANIZAWA Sawako
Dear Chieko, Pomegranate
2021
acrylic paint on paper, acrylic board, scrap
wood of old house
86.0×88.0×5.0 cm

JD202200005000



45 水彩・素描 (日本)
谷澤紗和子
はいけい ちえこ さま 一NO—

2021年
アクリル、紙、アクリル板、解体された家屋
の廃材
60.0×72.0×5.0 cm

TANIZAWA Sawako
Dear Chieko, NO
2021
acrylic paint on paper, acrylic board, scrap
wood of old house
60.0×72.0×5.0 cm

JD202200006000



46 水彩・素描 (日本)
谷澤紗和子
はいけい ちえこ さま 一鈴蘭—

2021年
アクリル、紙、アクリル板、解体された家屋
の廃材
70.0×50.0×5.0 cm

TANIZAWA Sawako
Dear Chieko, Lily
2021
acrylic paint on paper, acrylic board, scrap
wood of old house
70.0×50.0×5.0 cm

JD202200007000

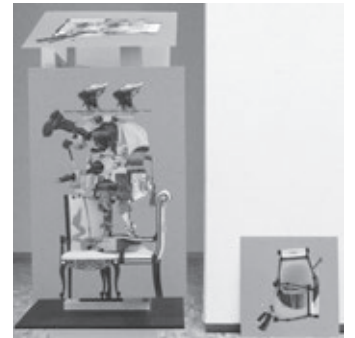


47 彫刻・立体 (日本)
平田尚也
Six-fold summon #1 (samurai sword)

2021年
UVプリント、アルミニウムボード、木
217.5×80.0×110.0 cm

HIRATA Naoya
Six-fold summon #1 (samurai sword)
2021
UV print on aluminum board, wood
217.5×80.0×110.0 cm

JS202200003000



48 彫刻・立体 (日本)
平田尚也
Bogus Romance #14 (lined warrior)

2021年
3Dプリント、PLA樹脂
25.0×13.5×11.5 cm

HIRATA Naoya
Bogus Romance #14 (lined warrior)
2021
3D print, PLA Plastic
25.0×13.5×11.5 cm

JS202200004000



49 版画 (日本)
藤田典子
kindergarten

2011年
リトグラフ、紙
96.5×74.0 cm

FUJITA Noriko
kindergarten
2011
lithograph on paper
96.5×74.0 cm

JP202200001000



54 映像 (日本)
志村信裕
ribbon

2010年
2チャンネルビデオ・プロジェクション
2分55秒

SHIMURA Nobuhiro
ribbon
2010
2 channel video projection
2'55"

JV202200001000



50 版画 (日本)
藤田典子
wild bird

2011年
エッチング、紙
23.5×19.0 cm

FUJITA Noriko
wild bird
2011
etching on paper
23.5×19.0 cm

JP202200002000



55 映像 (日本)
キュンチヨメ
遠い世界を呼んでいるようだ

2013年
ビデオ
本編：4分36秒、研究編：12分50秒

KYUN-CHOME
Like Howling to the Farther World
2013
video
Main Film 4'36" : Learning to Howl Chapter
12'50"

JV202200002000



51 版画 (日本)
藤田典子
nightmare

2013年
エッチング、紙
53.5×69.5 cm

FUJITA Noriko
nightmare
2013
etching on paper
53.5×69.5 cm

JP202200003000



56 映像 (日本)
キュンチヨメ
ウソをつくった話

2015年
ビデオ
23分48秒

KYUN-CHOME
The Story of Making Lies
2015
video
23'48"

JV202200003000



52 版画 (日本)
藤田典子
great escape

2017年
エッチング、紙
24.0×19.0 cm

FUJITA Noriko
great escape
2017
etching on paper
24.0×19.0 cm

JP202200004000



57 映像 (日本)
キュンチヨメ
空蟻 Crush!

2017年
ビデオ
17分55秒

KYUN-CHOME
Utsusemi Crush!
2017
video
17'55"

JV202200004000



53 写真 (日本)
尾野訓大
実らずども

2013年 (リプリント2022年)
写真
122.0×302.7 cm

ONO Kunihiro
Flourishing without Fruit
2013 (reprinted in 2022)
photograph
122.0×302.7 cm

JF202200001000



58 映像 (日本)
平田尚也
Bathroom prose

2021年
HDビデオ
5分2秒

HIRATA Naoya
Bathroom prose
2021
HD video
5'2"

JV202200005000



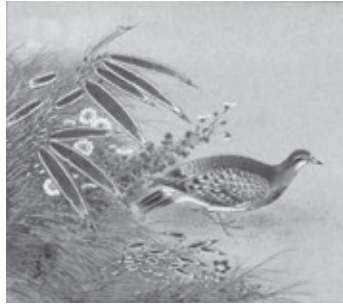
寄贈作品（20件）

59 日本画
喜多村麦子
秋庭之図

不詳（昭和後半か）
絹本着色
47.4×53.5 cm

KITAMURA Bakushi
Autumn Garden
n.d. (late Showa period?)
color on silk
47.4×53.5 cm

JJ202200003000
木藤美恵氏寄贈



64 日本画
長嶺折堂／青木栖古／八木有法／竹
内吉鳳ほか1名
正月玩具図

1921年（大正10）
紙本墨画淡彩
134.3×45.3 cm／総寸186.0×57.0 cm

NAGAMINE Setsudo/AOKI Seiko/YAGI
Yuho/TAKEUCHI Kichiho and one other
painter
New Year Toys
1921 (Taisho 10)
ink and light color on paper
134.3×45.3 cm/Mounting total 186.0×57.0 cm

JJ202200008000
木藤美恵氏寄贈

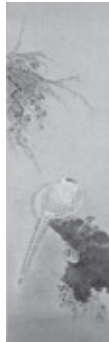


60 日本画
喜多村麦子
白雉子之図

不詳（昭和後半か）
絹本着色
118.4×35.7 cm／総寸201.5×48.8 cm

KITAMURA Bakushi
White Pheasant
n.d. (late Showa period?)
color on silk
118.4×35.7 cm/Mounting total 201.5×48.8 cm

JJ202200004000
木藤美恵氏寄贈



65 日本画
正木公
美術館の窓

1972年（昭和47）
紙本着色
98.0×131.5 cm

MASAKI Kimi
Windows of the Museum
1972 (Showa 47)
color on paper
98.0×131.5 cm

JJ202200009000
名古屋市博物館寄贈



61 日本画
喜多村麦子
待春之図 南天

不詳（昭和後半か）
絹本着色
118.8×35.1 cm／総寸202.0×49.0 cm

KITAMURA Bakushi
Waiting Spring, Nandina
n.d. (late Showa period?)
color on silk
118.8×35.1 cm/Mounting total 202.0×49.0 cm

JJ202200005000
木藤美恵氏寄贈



66 絵画（日本）
あざいますお
不詳

1960年代
油彩・ミクストメディア、木
183.0×91.0 cm

ASAI Masuo
unknown
1960s
oil and mixed media on panel
183.0×91.0 cm

JO202200031000
浅井達夫氏寄贈



62 日本画
喜多村麦子
河瀬

不詳（昭和後半か）
絹本着色
116.0×35.8 cm／総寸197.5×49.1 cm

KITAMURA Bakushi
The Shallow of a River
n.d. (late Showa period?)
color on silk
116.0×35.8 cm/Mounting total 197.5×49.1 cm

JJ202200006000
木藤美恵氏寄贈



67 絵画（日本）
あざいますお
不詳

1960年代
油彩・ミクストメディア、木
183.0×91.0 cm

ASAI Masuo
unknown
1960s
oil and mixed media on panel
183.0×91.0 cm

JO202200032000
浅井達夫氏寄贈



63 日本画
喜多村麦子
富士山

不詳（昭和後半か）
絹本着色
43.5×50.6 cm／総寸138.5×64.9 cm

KITAMURA Bakushi
Mt. Fuji
n.d. (late Showa period?)
color on silk
43.5×50.6 cm/Mounting total 138.5×64.9 cm

JJ202200007000
木藤美恵氏寄贈



68 絵画（日本）
あざいますお
不詳

1960年代
油彩・ミクストメディア、木
74.0×52.0 cm

ASAI Masuo
unknown
1960s
oil and mixed media on panel
74.0×52.0 cm

JO202200033000
浅井達夫氏寄贈



69 絵画 (日本)

登山博文
Space-white

1992年
カーボン・オイルバー、パネル
205.0×151.2 cm

TOYAMA Hirofumi
Space-white
1992
carbon, oil bar on panel
205.0×151.2 cm

JO202200034000
登山さつき氏寄贈



74 彫刻・立体 (日本)

ノロ燐
胎芽供養堂

1973年
古布・綿・粘土・髪・カマキリ・鳩の足・胡桃、木
96.0×150.0×30.0 cm

NORO Rin
The Memorial Altarpiece for Embryos
1973
old cloths, cotton, clay, hair, mantis, pigeon's feet, walnuts on wood
96.0×150.0×30.0 cm

JS202200007000
作者寄贈



70 水彩・素描 (日本)

あさいますお
ドローイング

1950~60年代
水彩・鉛筆・インク・クレヨン、紙

ASAI Masuo
Drawings
1950s-60s
watercolor, pencil, ink, crayon on paper

JD202200008000
浅井達夫氏寄贈



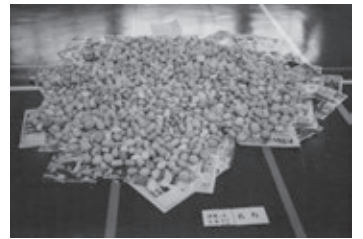
75 インスタレーション (日本)

大塚恵子
情報の石

1984年
紙
サイズ可変

OTAKE Keiko
Stones of Information
1984
paper
dimensions variable

J1202200002000
作者寄贈



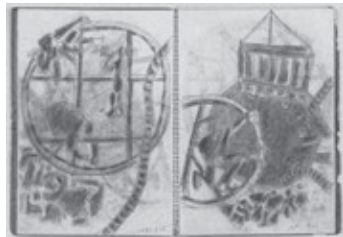
71 水彩・素描 (日本)

あさいますお
スケッチブック

1950~60年代
鉛筆・インク、紙

ASAI Masuo
Sketchbook
1950s-60s
pencil and ink on paper

JD202200009000
浅井達夫氏寄贈



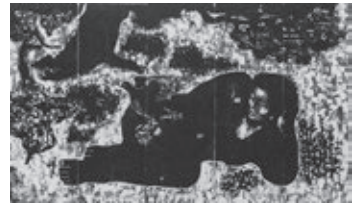
76 版画 (日本)

磯見輝夫
間奏

1979年
木版、紙
68.5×118 cm

ISOMI Teruo
Intermezzo
1979
woodcut on japanese paper
68.5×118 cm

JP202200005000
高橋侑也氏寄贈



72 彫刻・立体 (日本)

イケムラレイコ
White Figure

1991年
陶
41.0×16.5×16.0 cm

IKEMURA Leiko
White Figure
1991
ceramic
41.0×16.5×16.0 cm

JS202200005000
神野卓三氏寄贈



77 資料 (日本)

あさいますお関連資料
1950-1960年代

Related Materials about Asai Masuo
1950s-60s

JM202200001000
浅井達夫氏寄贈



73 彫刻・立体 (日本)

篠原猛史
場と量の変換性No4-115

2007年
鉄
244.0×89.6×55.2 cm

SHINOHARA Takeshi
Convertibility of Place and Quantity, No.4-115
2007
steel
244.0×89.6×55.2 cm

JS202200006000
鶴飼起久子氏寄贈



78 資料 (海外)

コンラート・フィッシャー・ギャラリーの招待状
1967-2015年
印刷物

Invitation Cards of Konrad Fischer Galerie
1967-2015
printed matter

FM202200002000
Konrad Fischer Galerie寄贈



管理替え等（3件）

79 版画（海外）

ジョアン・ミロ

無題（『カイエ・ダール』9巻1-4号所収ステンシル）

1934年
ステンシル、紙
31.0×24.0 cm

Joan MIRÓ
Untitled (Stencil Published in *Cahiers d'Art*,
vol.9, nos. 1-4)
1934
stencil on paper
31.0×24.0 cm

FP202200003000
愛知芸術文化センター・アートライブラリー
から移管



80 版画（海外）

ジョアン・ミロ

無題（『カイエ・ダール』9巻1-4号所収ステンシル）

1934年
ステンシル、紙
31.0×24.0 cm

Joan MIRÓ
Untitled (Stencil Published in *Cahiers d'Art*,
vol.9, nos. 1-4)
1934
stencil on paper
31.0×24.0 cm

FP202200004000
愛知芸術文化センター・アートライブラリー
から移管



81 映像（日本）

SHIMURAbros

車輪の上の蝶

2022年
ビデオ
29分

SHIMURAbros
Butterfly upon a wheel
2022
video
29'

JV202200006000
愛知芸術文化センター・愛知県美術館オリジナル映像作品



新規寄託品と寄託の状況

2022（令和4）年度には絵画1件、版画1件の計2件の寄託を受け、絵画2件、彫刻・立体3件、の計5件を返却した。

寄託品件数内訳（2023（令和5）年3月末現在）

分類	件数
日本画	49
絵画	104
水彩・素描	94
彫刻・立体	228
インスタレーション	1
版画	116
写真	89
資料	18
計	41所蔵者699件

2 保存

保存事業の実施状況

事業項目	内 容
保存環境の整備	展示室および収蔵庫内の空気環境測定をおこなった。
	生物被害対策のための生息調査と徹底清掃をおこなった。
所蔵作品の保存・修復処置	貸出・展示予定の作品から優先的に、輸送・展示のための最低限の保存処置をおこなった。
所蔵作品の状態調査	翌年度以降に貸出・展示予定の作品について状態調査をおこなった。
	状態が悪く展示ができない作品について、修復を前提とした状態調査をおこなった。

保存環境の整備業務一覧

No.	内容	目的	作業者
1	バグトラップ調査（年4回）	文化財害虫モニタリング	中部資材株式会社
2	空気環境測定（10F展示室）	有害物質（有機酸、アンモニア）モニタリング	粟名彩香（愛知県美術館学芸員／保存担当）

保存処置作品一覧

No.	種別	作家名	作品名	技法、材質	処置内容	処置者
3	工芸	-	銅経筒（木村コレクションM310）	銅鑄造	エックス線撮影、蛍光エックス線分析、クリーニング、金属の安定化、強化・補填、防錆	（公財）元興寺文化財研究所
4	工芸	-	環頭（木村コレクションM318）	銅製鑄造鍍金	エックス線撮影、蛍光エックス線分析、クリーニング、金属の安定化、強化・接着	〃
5	日本画	村松乙彦	観船	絹本着色	剥離・剥落の接着	修美
6	日本画	石川英風	猿猴の図	絹本着色	剥離・剥落の接着	修美
7	版画	マックス・クリンガー	夏の午後（Z13-4）	エッチング・アクアチント、紙	粘着テープ・粘着剤除去	坂本雅美（紙本保存修復）
8	版画	マックス・クリンガー	第二の未来（Z28-3）	エッチング・アクアチント、紙	破れの補修、部分補強	〃
9	版画	マックス・クリンガー	アモル（エロティックな版画、その3）（Z83）	エッチング、和紙	ドライクリーニング、旧ヒンジ・紙片・紙テープなど除去、本紙洗浄・脱酸性化処置、フォクシング処置、フラットニング	〃
10	版画	マックス・クリンガー	フリッツ・グルリットの蔵書票：芸術と自然（Ze16）	エッチング・エングレーヴィング、紙	台紙除去	〃

状態調査作品一覧（学術調査を目的とした調査研究を含む）

No.	種別	作家名	作品名	技法、材質	内容、目的等	調査者
11	立体	若林奮	大気中の緑色に属するものI	鉛・木	修復計画立案のため	修復工房 明舎
12	絵画	パブロ・ピカソ	青い肩かけの女	油彩、画布	構造（下層に描かれたイメージ）調査のため	ナショナルギャラリー・オブ・ワシントン
13	絵画	田淵安一	鬼に金棒	油彩、画布	構造（下層に描かれたイメージ）調査のため	（公財）元興寺文化財研究所

3 管理

作品の管理

全所蔵作品の所在確認および管理状況確認作業（藤井達吉コレクションの「工芸」、木村コレクションを除く「資料」）を実施した。

作品の貸出

他の美術館等からの展覧会等への貸出要請に対して、作品の保存状態が比較的良好で、コレクション展や移動美術館等の展示計画に支障がないものについて、展覧会の内容やその意義を勘案し、展示施設・設備の状況を確認した上で、所蔵作品貸出要領に則し貸出を行っている。また、このような館外への貸出も所蔵作品公開の機会と位置付け、各会場での入場者状況を調査している。

貸出の概要 (貸出期間 2022(令和4)年4月1日～2023(令和5)年3月31日)

貸出先		件数	点数	総入場者数(うち小中生)*
国内	美術館・博物館	28	88	47,824人(2,543人)
	県関係機関	4	42	集計なし
国外	美術館・博物館	3	4	集計なし
計		35	134	47,824人(2,543人)

*データは2023年3月31日現在。一部、年度をまたいで開催した展覧会を含むが、展覧会会期が2022年度中に掛かる件について報告する。

国外貸出リスト

貸出作品	展覧会名	貸出先	会期
パブロ・ピカソ 《青い肩かけの女》	REDISCOVERING PICASSO PARIS/BARCELONA AND THE BLUE PERIOD	The Phillips Collection, Washington, D.C.	2022/2/26-6/12
グスタフ・クリムト 《人生は戦いなり (黄金の騎士)》	Klimt. Inspired by Monet, Van Gogh, matisse	Van Gogh Museum, Amsterdam	2022/10/7-2023/1/8
グスタフ・クリムト 《人生は戦いなり (黄金の騎士)》	Klimt. Inspired by Monet, Van Gogh, matisse	Österreichische Galerie Belvedere, Vienna	2023/2/3-5/29
碓井ゆい 《ガラスの中で》	JAPAN. BODY_PERFORM_LIVE	Padiglione d'Arte Contemporanea, Milano	2022/11/21-2023/2/5

木村定三コレクションの調査研究

『愛知県美術館研究紀要第29号木村定三コレクション編』を発行し、日本陶磁目録など木村定三コレクションに関する調査研究成果を公開した。

藤井達吉関係資料の調査研究

藤井達吉の作品に書かれた変体仮名による和歌などの解説について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止していた「友の会所蔵作品管理サポート部会」の活動を8月から再開した。

所蔵作品情報の公開

所蔵品管理システムにコレクションのデータを追加した。著作権保護期間が満了したいわゆるパブリック・ドメインの作品画像を閲覧者が自由にダウンロード、複製、再配布等を行えるようにしており、その整備を継続して進めた。また保護期間内の作品画像の利用について、権利者と順次調整を行った。

施設・設備の管理

- ・19、20、21、27号エレベーター改修工事
- ・固定展示ケースに低反射フィルム貼付（展示室1内面）
- ・可動展示ケースに低反射フィルム貼付（大型7台、中型9台、のぞき10台、行灯10台）
- ・可動展示ケースの照明LED化工事（ハイケース台2台、ハイケース中2台）
- ・備品購入
 - 折り畳み式展示台（Bタイプ10台、Cタイプ20台）
 - ローリングタワー（2台）
 - 絵画用台車（2台）
 - 電動車椅子（1台）
 - ワイヤレスマイク付き拡声器スピーカー（1台）

1 所蔵作品の展示公開

コレクション展の概要

コレクション展では、主に20世紀以降の美術の展開やその特質に触れることができる展示を行うと同時に、来館者の関心の多様化や学芸員による調査・研究の成果を反映させ、各期に、企画展と関連する時代や作家、あるいは一つのまとまりのある美術動向や作品群に焦点をあてた特集展示を行っている。

2022（令和4）年度は、第1期から第3期まで計3回のコレクション展を行った。第3期コレクション展では、若手支援として美術品等取得基金の特別枠によって購入した新収蔵作品を、いち早く公開した。

コレクション展の開催状況と入場者数

		総入場者数	一日平均
2022年度 第1期	2022年4月1日（金）—7月3日（日） 特集等：20世紀西洋美術の名品 戦前のヨーロッパ美術 戦後ヨーロッパからアメリカへ 宮本三郎—隠された裸婦の謎 庄司達／新聞紙 木村定三 利休流無作法茶会 酒井耕／濱口竜介	34,569人	(81日間) 426人
	内訳		
	企画展「ミロ展—日本を夢みて」共通入場者数	33,265人	410人
	コレクション展のみの入場者数	1,304人	16人
2022年度 第2期	2022年10月29日（土）—12月25日（日） 特集等：追悼 設楽知昭 ピカソと同時代の作家たち 生誕80年 あさいますお—不可視の後衛 木村定三コレクション 文人趣味と煎茶	26,755人	(51日間) 525人
	内訳		
	企画展「ジブリパークとジブリ展」共通入場者数	25,398人	498人
	コレクション展のみの入場者数	1,377人	27人
2022年度 第3期	2023年1月14日（土）—3月14日（火） 特集等：令和4年度新収蔵作品展 熊谷守一—木村定三の眼 徳富満—テーブルの上の宇宙 岡本柳南—大正名古屋の南画家	24,967人	(56日間) 445人
	内訳		
	企画展「展覧会 岡本太郎」共通入場者数	23,993人	428人
	コレクション展のみの入場者数	974人	17人
2022年度 合計		86,311人	(188日間) 1,396人

コレクション展等の関連イベント及びメディア掲載

関連イベント

第1期

■コレクション・トーク①

「庄司達と“人間と物質”展愛知会場をめぐる」

〔講師〕石崎尚（愛知県美術館主任学芸員）

〔日時〕2022年4月29日（金・祝）午後1時30分～3時

〔会場〕アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

参加者：20人

■コレクション・トーク②

「絵画を消すとき、隠すとき」

〔講師〕榎名彩香（愛知県美術館学芸員）

〔日時〕2022年6月12日（日）午前11時～11時40分

〔会場〕アートスペースE・F（愛知芸術文化センター12階）

参加者：20人

■講演会「和菓子の歴史とデザイン」

〔講師〕中山圭子氏（株式会社虎屋 虎屋文庫 主席研究員）

〔日時〕2022年6月19日（日）午後1時30分～3時

〔会場〕アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

参加者：38人

第2期

■開館30周年記念コレクション・トーク①

「あさいますおの24年」

〔講師〕石崎尚（愛知県美術館主任学芸員）

〔日時〕2022年11月3日（木・祝）午後2時30分～3時30分

〔会場〕アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

参加者：20人

■開館30周年記念コレクション・トーク②

「木村定三コレクションの文人趣味」

〔講師〕中野悠（愛知県美術館学芸員）

〔日時〕2022年11月3日（木・祝）午後3時40分～4時40分

〔会場〕アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

参加者：20人

■設楽知昭幻灯機上映会+ギャラリートーク

〔講師〕深山孝彰（愛知県美術館企画業務課長）

〔日時〕2022年12月9日（金）午後6時30分～7時10分

〔会場〕展示室4

参加者：25人

■煎茶お点前実演+トーク「文人茶（煎茶）をたのしむ」

〔講師〕高取友仙窟（煎茶道賣茶流4代家元）、田畑潤（愛知県陶磁美術館学芸員、煎茶道賣茶流師範 田畑由仙窟）

〔日時〕2022年12月18日（日）午後2時～3時30分

〔会場〕アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

参加者：35人

第3期

■「徳富満一テーブルの上の宇宙」

愛知県美術館・豊田市美術館両学芸員によるスライドトーク

〔講師〕副田一穂（愛知県美術館主任学芸員）、

能勢陽子（豊田市美術館学芸員）

〔日時〕2023年3月4日（土）午後1時30分～2時30分

〔会場〕アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

参加者：62人

メディア掲載

第1期 展示室6 宮本三郎—隠された裸婦の謎

- ・宮崎正嗣「秘密のキャンバス、現れた裸婦 愛知県美術館の宮本三郎油絵」『中日新聞』、2022年3月17日
- ・無記名「油彩画「家族」の下に「裸婦」宮本三郎の作品発見」『読売新聞』、2022年4月16日
- ・無記名「二重キャンバスをはがすと「裸婦」が出てきた 昭和の洋画家・宮本三郎」『産経新聞』、2022年4月28日
- ・佐藤雄二「「家族」の下から「裸婦」宮本三郎の2作品、愛知県美術館で公開」『朝日新聞』、2022年5月5日
- ・「洋画家・宮本三郎 キャンバスの下から“別の作品”発見」NHK総合（東海三県）、2022年5月14日

第3期 徳富満一テーブルの上の宇宙

- ・宮崎正嗣「現代につながる創作 早世の美術家・徳富満さん特集」『中日新聞』、2023年2月3日夕刊

パブロ・ピカソ《青い肩かけの女》の光学調査

- ・宮崎正嗣「ピカソ作品 下層に下絵 米での光学調査で判明」『中日新聞』、2023年2月17日朝刊
- ・「まるっと！」NHK総合（東海三県）、2023年2月17日
- ・「NHKニュース7」NHK総合、2023年2月17日
- ・「ニュースウォッチ9」NHK総合、2023年2月17日
- ・「NHKニュース おはよう日本」NHK総合、2023年2月18日
- ・「日美術館合作 発見畢加索畫作底稿」『on.cc 東網』、2023年2月19日
- ・山田泰生「ピカソ油彩下に人物」『毎日新聞』、2023年2月20日朝刊
- ・「ピカソ「青い肩かけの女」下層から下絵」『朝日新聞』、2023年2月28日
- ・「NEWS ONE」東海テレビ、2023年3月2日

コレクション展の展示作品リスト

2022年度第1期コレクション展展示作品リスト（2022年4月1日（金）— 7月3日（日））

モーリス・ドニの新収蔵作品の初公開、別の絵の下から発見された宮本三郎作品の公開、庄司達の新報紙作品の収蔵後初展示など、盛り沢山な内容となった。

前室1		絵画	フランティシェク・クプカ 灰色と金色の展開 1920-21年	写真	アーヴィング・ペン 寄託作品 アルベルト・ジャコメッティ、パリ 1950年
彫刻・立体	ジョルジュ・ミンヌ 聖遺物箱を担ぐ少年 1897年	絵画	ジャック・ヴィヨン 存在 1920年	版画	アニ・アルバース 令和元年度新収蔵作品 コネクションズ 1925/1983 1983年(ポートフォリオ出版1984年)
展示室4 20世紀西洋美術の名品 戦前のヨーロッパ美術		彫刻・立体	ハンス(ジャン)・アルプ 森 1917年頃	絵画	ジョーゼフ・アルバース 正方形頰 1962年
絵画	クロード・モネ 寄託作品 セーヌ河の湾曲部 ラヴァクール、冬 1879年	彫刻・立体	ハンス(ジャン)・アルプ 星座 1932年	版画	ジャクソン・ポロック 令和2年度新収蔵作品 無題 1944-45年頃(後刷り、1967年)
絵画	ポール・ゴーギャン 玉谷文男・榎子夫妻からの 寄附金による購入 木靴職人 1888年	版画	ラースロー・モホイ=ナジ コンストラクション『ケストナー版画集6』より 1922-23年	版画	ジャクソン・ポロック 令和2年度新収蔵作品 無題 1944-45年頃(後刷り、1967年)
絵画	ポール・ゴーギャン 玉谷文男・榎子夫妻からの 寄附金による購入 水浴するブルターニュの女たち 1889年	版画	ラースロー・モホイ=ナジ コンストラクション『ケストナー版画集6』より 1922-23年	版画	ジャクソン・ポロック 令和2年度新収蔵作品 無題 1944-45年頃(後刷り、1967年)
絵画	モーリス・ドニ 令和2年度新収蔵作品 花飾りの舟 1921年	版画	ラースロー・モホイ=ナジ コンストラクション『ケストナー版画集6』より 1922-23年	版画	ジャクソン・ポロック 令和2年度新収蔵作品 無題 1944年頃(後刷り、1967年)
絵画	アンリ・マティス 中部電力株式会社寄贈 待つ 1921-22年	絵画	パウル・クレー 女の館 1921年	版画	ジャクソン・ポロック 令和2年度新収蔵作品 無題 1944年頃(後刷り、1967年)
絵画	ピエール・ボナール にぎやかな風景 1913年頃	絵画	ライオネル・ファイニンガー 夕暮の海 1 1927年	版画	ジャクソン・ポロック 令和2年度新収蔵作品 無題 1944年頃(後刷り、1967年)
彫刻・立体	オーギュスト・ロダン 歩く人 1900年	絵画	ベン・ニコルソン 1933(スペインの絵葉書のあるカラーージュ) 1933年	絵画	ニコラ・ド・スタール コンポジション 1948年
絵画	グスタフ・クリムト トヨタ自動車株式会社からの 寄附金による購入 人生は戦いなり(黄金の騎士) 1903年	絵画	フェルナン・レジェ 蟹江プロバン(現クニエJAPAN) 株式会社からの寄附金による購入 緑の背景のコンポジション(葉のあるコンポジション) 1931年	絵画	ジャン・デュビュッフエ 二人の脱走兵 1953年
版画	カジミール・マレーヴィチ 祈り 第21葉『爆』 1913年	展示室5 20世紀の西洋美術の名品戦後 ヨーロッパからアメリカへ		絵画	ルーチョ・フォンタナ 空間概念 1960年
版画	カジミール・マレーヴィチ 飛行機と汽車によるひとりの人間の 同時的な死 第17葉『爆』 1913年	絵画	ジョージア・オキーフ 抽象 第6番 1928年	絵画	アントニ・タピエス コンポジション 1977年
版画	カジミール・マレーヴィチ 農婦『子豚』 1913年	絵画	マックス・エルンスト ポーランドの騎士 1954年	絵画	サム・フランシス 消失に向かう地点の青 1958年
版画	カジミール・マレーヴィチ 建設者の完全な肖像『子豚』 1913年	写真	アーヴィング・ペン 寄託作品 マックス・エルンストとドロテア・タニング、 ニューヨーク 1947年	絵画	アド・ラインハート No. 114 1950年
版画	アレクサンダー・アーチベンコ 令和3年度新収蔵作品 阿部靖子氏寄贈 二人の裸婦 1923年	写真	アーヴィング・ペン 寄託作品 マルク・シャガール、ニューヨーク 1947年	版画	ヴォルス ヴォルス版画集 1962年刊行
絵画	エドヴァルド・ムンク 寺島八千代氏からの 寄附金による購入 イブセン『幽霊』からの一場面 1906年	写真	アーヴィング・ペン 寄託作品 サルバドール・ダリ、ニューヨーク 1947年	彫刻・立体	ファウスト・メロッティ 寄託作品 みせかけの混乱 1978年
絵画	エミール・ノルデ 静物 L(アマゾン、能面等) 1915年	写真	アーヴィング・ペン 寄託作品 イサム・ノグチ、ニューヨーク 1947年	絵画	アグネス・マーティン 寄託作品 無題 #3 1991年
絵画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物 1912年	写真	アーヴィング・ペン 寄託作品 ジョアン・ミロと娘ドロレス、タラゴナ、スペイン 1948年	絵画	フランク・ステラ リヴァー・オブ・ボンズ IV 1969年
本彩・素描	ジャーコモ・バッツァ 太陽の前を通過する水星(習作) 1914年	写真	アーヴィング・ペン 寄託作品 マルセル・デュシャン、ニューヨーク 1948年	彫刻・立体	ルイーゼ・ニーヴェルソン 漂う天界 1959-66年

絵画	アンディ・ウォーホル レディース・アンド・ジェントルメン	1975年
彫刻・立体	ジョージ・シーガル ロバート&エセル・スカルの肖像	1965年
彫刻・立体	ジム・ダイン 芝刈機	1962年
版画	ジム・ダイン A Beautiful Heart	寄託作品 1996年
彫刻・立体	イヴ・クライン アルマン(肖像レリーフ)	1962年
彫刻・立体	キキ・スミス セイレーン	寄託作品 2002年

展示室6 宮本三郎 一隠された裸婦の謎

絵画	宮本三郎 令和3年度新収蔵作品／宮本美音子氏寄贈 裸婦	1937年
絵画	安井曾太郎 承德喇嘛廟	1938年
絵画	宮本三郎 家族	1956年
水彩・素描	宮本三郎 両手をあげる座裸婦	1949年
水彩・素描	宮本三郎 アトリエに立つ裸婦	1954年
水彩・素描	宮本三郎 女優像(フリルのブラウス)	1955年頃
水彩・素描	宮本三郎 肘をつく女	1960年頃
水彩・素描	宮本三郎 プロフィール	1962年
水彩・素描	宮本三郎 長い髪の裸婦	1970年
水彩・素描	宮本三郎 『サロメ』のためのデッサン	1973年
水彩・素描	宮本三郎 アトリエの裸婦	1967年
参考資料	『名作挿画全集2』	1935年
参考資料	《裸婦》第24回二科展絵葉書	1937年
参考資料	三角寛『瀬振と山刀』	1937年
参考資料	リシュタンベルジュ『かはいいトロット』	1941年

参考資料	『生活美術』第2巻9号	1942年
参考資料	栗原信『六人の報道小隊』	1942年
参考資料	宮本三郎『宮本三郎南方従軍画集』	1943年
参考資料	石川達三『四十八歳の抵抗』	1956年

展示室7 庄司達／新聞紙

インク・ペン	庄司達 令和元年度新収蔵作品 新聞紙30枚に四角の孔を残して 赤く塗った新聞紙	1970年
インク・ペン	庄司達 令和元年度新収蔵作品／作者寄贈 コピーした新聞紙の上の一部に本当の 新聞紙を貼った52枚の新聞紙	1970年

展示室8 木村定三 利休流無作法茶会

資料	令和3年度新収蔵作品／木村定三コレクションM2965 「利休流無作法茶会」招待状	1975年
資料	令和3年度新収蔵作品／木村定三コレクションM2965 「利休流無作法茶会」会記	1975年
彫刻・立体	加藤孝一 コーラス	木村定三コレクションM2629 20世紀後半
日本画	岡本柳南 兎の餅つき	木村定三コレクションM511 制作年不詳
工芸	色絵竜宮文大皿	木村定三コレクションM1717 18世紀後半-19世紀、有田
日本画	熊谷守一 河童	木村定三コレクションKT340 1954年
工芸	透漆塗行利形煙草盆	木村定三コレクションM1402 近代(20世紀)
工芸	志野織部 矢・小禽図火入(巻煙草入)	木村定三コレクションM2236 制作年不詳
工芸	灰皿 銘「水玉」	木村定三コレクションM1402 制作年不詳
工芸	銅飯食器	木村定三コレクションM980 鎌倉時代(13世紀)
工芸	灰被天目 銘「西湖」 元時代～明時代(14世紀後半～15世紀前半)	木村定三コレクションM795
工芸	朱漆輪花形盞台	木村定三コレクションM1136 江戸時代(17世紀-18世紀)
工芸	青磁貼花八仙文燭台	木村定三コレクションM2311 明時代～清時代
工芸	青花草花文瓶	木村定三コレクションM1262 明時代後期(16世紀後半)

工芸	銀象嵌筒形香炉 江戸時代または中国・清時代(18世紀-19世紀)	木村定三コレクションM1370
工芸	恵比須図朱漆木彫香合(鎌倉彫) 桃山時代-江戸時代前期(16世紀-17世紀)	木村定三コレクションM1493
工芸	銅經机	木村定三コレクションM641 制作年不詳
工芸	赤楽角香合 銘「玉手箱」 元禄4-享保15(1691-1730)年	木村定三コレクションM1512
書	原叟宗左(覚々斎) 一行書「大鵬一翬九万里」 江戸時代中期(17-18世紀)	木村定三コレクションM2068
工芸	備前花入 銘「大磐石」 江戸時代(17世紀-18世紀)	木村定三コレクションM1273
日本画	小川芋銭 扇面貼付屏風	木村定三コレクションM2828 制作年不詳
工芸	延元二年銘丸釜	木村定三コレクションM1152 江戸時代前期(17世紀)
工芸	大西浄清 唐銅乙御前風炉	木村定三コレクションM1148 江戸時代前期(17世紀)
工芸	古志野敷瓦	木村定三コレクションM1168 制作年不詳
工芸	安南四方水指	木村定三コレクションM1199 安南(ベトナム)17世紀
工芸	黒織部文茶碗 銘「五月雨」	木村定三コレクションM1139 桃山時代(17世紀初)
工芸	志野杜若文茶器	木村定三コレクションM1413 桃山時代(16世紀末)
工芸	杉木普斎 茶杓 銘「カチカチ山」・共筒	木村定三コレクションM2486 江戸時代前期(17世紀)
工芸	志野杜若文茶器 仕覆 「唐花文様」	木村定三コレクションM1413 制作年不詳
工芸	堅手茶碗	木村定三コレクションM809 朝鮮時代(17世紀)
工芸	銀象嵌鉄鉢形建水	木村定三コレクションM1376 桃山時代(16世紀-17世紀)
工芸	宇野宗堯 青磁夜学蓋置	木村定三コレクションM1489 20世紀
工芸	色絵唐花紗綾形文茶壺	木村定三コレクションM1417 19世紀後半
工芸	備前茶器 銘「チョロケン」	木村定三コレクションM1419 桃山時代(16世紀後期)
工芸	備前茶器 銘「チョロケン」 仕覆 緞子・間道	木村定三コレクションM1419 桃山時代(16世紀後期)
工芸	原叟宗左(覚々斎) 茶杓 銘「亀齢」・共筒	木村定三コレクションM2489 江戸時代中期 18世紀

工芸	無盡宗左(即中齋) 木村定三コレクションM2490 茶杓 銘「亀齢」外箱蓋裏書 1949年
工芸	原叟宗左(覺々齋) 木村定三コレクションM594 赤玉茶碗(流芳五十) 享保13(1728)年
工芸	木村定三コレクションM2374 緑釉日本地岡角鉢 江戸時代後期(18世紀後半-19世紀)
日本画	伊藤若冲 木村定三コレクションM2029 六歌仙図 寛政3(1791)年
工芸	木村定三コレクションM1635 染付三福人文水注 制作年不詳
工芸	木村定三コレクションM2489 茶杓 銘「亀齢」茶杓袋 縦縞唐花文様金襴 江戸時代-明治時代(19世紀)
工芸	木村定三コレクションM2489 茶杓 銘「亀齢」茶杓筒袋 薄茶地菊花花菱文様緞子 江戸時代後期(19世紀)
工芸	木村定三コレクションM795 灰被天目 銘「西湖」仕覆 金襴
工芸	木村定三コレクションM980 銅飯食器 仕覆 菊花文様金襴
工芸	木村定三コレクションM809 堅手茶碗 内箱
工芸	個人蔵 万年堂製菓子「玉手箱」木型 1975年

前室2

絵画	伊藤廉 新聞を読む女 1928年
水彩・素描	桂ゆき 木村定三コレクションM2728 曾野綾子『仮の宿』挿画 1973年
水彩・素描	桂ゆき 木村定三コレクションM2843 曾野綾子『仮の宿』挿画 1973年
参考資料	燃える凧糸と10枚のガラス板 (パフォーマンスの記録写真) 1972年
参考資料	庄司達を使用した撮影・編集機材
映像	庄司達 作家蔵 ヨーロッパ彫刻家シンポジウム (ザンクト・マルガレーテン) 1970年
映像	庄司達 作家蔵 浜辺にて(野間海岸) 1972年
映像	庄司達 作家蔵 長戸町の子どもたち 1976年

プラスキューブ

映像	酒井耕／濱口竜介 令和3年度新収蔵作品／刃物屋いとう (伊藤伸之氏)の寄附金による購入寄贈 なみのおと 2011年
映像	酒井耕／濱口竜介 令和3年度新収蔵作品／刃物屋いとう (伊藤伸之氏)の寄附金による購入寄贈 なみのこえ(新地町) 2013年

映像	酒井耕／濱口竜介 令和3年度新収蔵作品／刃物屋いとう (伊藤伸之氏)の寄附金による購入寄贈 なみのこえ(気仙沼) 2013年
映像	酒井耕／濱口竜介 令和3年度新収蔵作品／刃物屋いとう (伊藤伸之氏)の寄附金による購入寄贈 うたうひと 2013年

10階屋上庭園(レストラン脇)

彫刻・立体	アルナルド・ポモドーロ 財団法人日本宝くじ協会寄贈 飛躍の瞬間 1984年
-------	------------------------------------------

屋外展示スペースⅠ(12階屋上)

彫刻・立体	コルネリス・ジットマン カリブの女 1983年
彫刻・立体	加藤昭男 大地 1986年
彫刻・立体	小田襄 円柱の構造 1988年

屋外展示スペースⅡ(10階)

彫刻・立体	今井瑾郎 大地 1992年
-------	------------------

12階アールスペースロビー

彫刻・立体	舟越保武 花を持つ少女 1966年
-------	----------------------

2022年度第2期コレクション展展示作品リスト（2022年10月29日（土）— 12月25日（日））

設楽知昭の追悼展示を行ったほか、ピカソを中心にすえた展示、さらには分野別図録『文人趣味と煎茶』の刊行に関連する木村定三コレクションの紹介を行った。

展示室4 追悼特集 設楽知昭			展示室5 ピカソと同時代の作家たち		
絵画	設楽知昭 目の服・上衣	土崎正彦氏(旧白土舎)寄贈 1993年	絵画	設楽知昭 食堂、Folios	土崎正彦氏(旧白土舎)寄贈 2004年
版画	設楽知昭 鏡 1986	土崎正彦氏(旧白土舎)寄贈 1986年	絵画	設楽知昭 portrait 二	土崎正彦氏(旧白土舎)寄贈 2007年
版画	設楽知昭 鏡ヨリ モノタイプ(手と目/頭部・胸)鏡	寄託作品(鯉庵コレクション) 1989年	絵画	設楽知昭 海豹	土崎正彦氏(旧白土舎)寄贈 2009年
版画	設楽知昭 鏡ヨリ モノタイプ(手と目/頭部・胸)1-10	寄託作品(鯉庵コレクション) 1989年	絵画	設楽知昭 くまのプーの話	山下幸司・高子氏寄贈 2012年
版画	設楽知昭 版画集 フレネルレンズ視—フレネルレンズ に基づく四つの寓意的な版	土崎正彦氏(旧白土舎)寄贈 1995年	絵画	設楽知昭 空と炎	
彫刻・立体	設楽知昭 ノーザンステーションの模型	作者寄贈 2001年	絵画	設楽知昭 火口	
絵画	設楽知昭 ノーザンステーション	作者寄贈 2001年	絵画	設楽知昭 透明壁画、人工夢	作者寄贈 2005年
絵画	設楽知昭 ホテルバシフィカ	作者寄贈 2001年	版画	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック ムーランルージュ、ラ・グリユ	寄託作品 1891年
絵画	設楽知昭 レセプション	作者寄贈 2001年	彫刻・立体	アレクサンダー・アーチペンコ 歩く女	
絵画	設楽知昭 母子手帳をください	作者寄贈 2001年	絵画	パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	東海銀行からの寄附金による購入 1902年
絵画	設楽知昭 男、女、子供	作者寄贈 2001年	版画	ピエール・ボナール 小さな洗濯屋さん	寄託作品 1896年
絵画	設楽知昭 こんにはとさようなら	作者寄贈 2001年	版画	エドゥワール・ヴエイヤール 母性	寄託作品 1896年
絵画	設楽知昭 バーン	作者寄贈 2001年	絵画	エドゥワール・ヴエイヤール 窓辺の女	
絵画	設楽知昭 駆ける	作者寄贈 2001年	絵画	ピエール・ボナール 子供と猫	1906年頃
絵画	設楽知昭 以前乗ツタ事ノアル船ヲ見タ	土崎正彦氏(旧白土舎)寄贈 2001年	水彩・素描	ジョルジュ・ルオー 苦悩する二人の労働者	寄託作品 1912年
彫刻・立体	設楽知昭 EQUINOX 2000	土崎正彦氏(旧白土舎)寄贈 2003年	絵画	アメデオ・モディリアーニ カリアティード	
彫刻・立体	設楽知昭 ドーム		絵画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物	1912年
絵画	設楽知昭 ドーム画		絵画	エミール・ノルデ 静物L(アマゾン、能面等)	1915年
絵画	設楽知昭 恒星	寄託作品(鯉庵コレクション) 2003年	版画	パブロ・ピカソ 果物皿のある静物	1909年
版画	パブロ・ピカソ 長椅子のレオニー嬢『聖マトレル』	1910年(1911年刷)	版画	パブロ・ピカソ ギターを持つ男	1915年(1929年刷)
版画	パブロ・ピカソ ジョルジュ・ブラック Fox	1911年(1912年刷)	版画	ジョルジュ・ブラック Bass	1911-12年(1950年刷)
版画	パブロ・ピカソ ジョルジュ・ブラック Pale Ale	1912年(1954年刷)	版画	ルイ・マルクーシ ギョーム・アポリネールの肖像	1912-20年
水彩・素描	ロベール・ドローネー カーディフ・チーム習作	1913-22年頃	彫刻・立体	レイモン・デュシャン=ヴィヨン 恋人たち	1913年
絵画	ジャック・ヴィヨン 存在	1920年	絵画	フランティシエク・クプカ 灰色と金色の展開	1920-21年
絵画	ライオネル・ファイニンガー 夕暮れの海 I	1927年	絵画	ベン・ニコルソン 1933(スペインの絵葉書のあるコラージュ)	1933年
絵画	ベン・ニコルソン 2人の裸婦	1946年	版画	パブロ・ピカソ 眠る少女の上に跨ぐミノタウロス	寄託作品 1933年
版画	パブロ・ピカソ 2人の裸婦	1946年	版画	パブロ・ピカソ 星の夜、鳩を持ったマリー・テレーズに 導かれる盲目のミノタウロス	寄託作品 1934-35年
版画	パブロ・ピカソ 銃士	1967年	版画	パブロ・ピカソ ピカソ グラフィック作品の60年展	寄託作品 1966年
資料	パブロ・ピカソ エコール・ド・パリの巨匠の オリジナル・ポスター展	木村定三コレクションM2614 1959年	資料	パブロ・ピカソ ポスター	木村定三コレクションM2615 1961年

水彩・素描	あさいますお ドロイング	個人蔵 1956-65年
水彩・素描	あさいますお ドロイング	個人蔵 制作年不詳
水彩・素描	あさいますお ドロイング	個人蔵
彫刻・立体	あさいますお 題名不詳	個人蔵 1966年
絵画	あさいますお かり版誌	1962-66年
絵画	あさいますお ゼロ次元展ポスター	1966年
絵画	あさいますお スケッチブック	個人蔵 1961年
版画	あさいますお 題名不詳	個人蔵 制作年不詳
資料	『宝石』1966年2月号	1966年
資料	あさいますお 写真アルバム	個人蔵 1961年頃
資料	『月刊漫画ガロ』1965年7月号	個人蔵 1965年

展示室7 木村定三コレクション 文人趣味と煎茶

■は前期展示 (10/29-11/27)
□は後期展示 (11/29-12/25)

書	費隠通容 七言二句「不藉春風千萬好」■ 中国・明時代(17世紀中頃)	木村定三コレクションM2130
書	費隠通容 七言四句「汝自閩南一路來」□ 中国・明時代(17世紀中頃)	木村定三コレクションM2137
書	隠元隆琦 梅一大字 得色梅花三五點云々 七言二句■ 江戸時代前期(17世紀後半)	木村定三コレクションM2153
書	隠元隆琦 七言絶句「阿誰醒豁空花夢」□ 江戸時代前期(17世紀後半)	木村定三コレクションM2155
書	木庵性瑠 一行書「龜毛拂」 江戸時代前期(17世紀後半)	木村定三コレクションM2045
書	木庵性瑠 一行書「萬年春」 江戸時代前期(17世紀後半)	木村定三コレクションM2046
書	木庵性瑠 一行書「兎角杖」 江戸時代前期(17世紀後半)	木村定三コレクションM2044
書	即非如一 一行書「梅檀林裏鳳皇飛」 江戸時代前期(17世紀後半)	木村定三コレクションM2054
	即非如一 墨蘭図■ 江戸時代前期(17世紀後半)	木村定三コレクションM2151

書	悦山道宗 瓦硯銘賛「一片瓦琢磨成硯」□ 江戸時代中期(17世紀後半-18世紀)	木村定三コレクションM1991
	江稼圃 山水図 中国・清時代(19世紀)	木村定三コレクションM2037
	王冶梅 山水図 中国・光緒7(1881)年	木村定三コレクションM2183
日本画	与謝蕪村 富嶽列松図 江戸時代中期(18世紀後半), 安永7-天明3年(1778-83年)	木村定三コレクションM2890 重要文化財
日本画	浦上玉堂 山紅於染図■ 江戸時代後期(19世紀初頭)	木村定三コレクションM2891 重要文化財
日本画	浦上玉堂 閨日微陰図■ 江戸時代後期(19世紀前半)	木村定三コレクションM1768
日本画	浦上玉堂 雲山模糊図■ 江戸時代後期(19世紀前半)	木村定三コレクションM1769
日本画	浦上玉堂 秋色半分図□ 文政元(1818)年	木村定三コレクションM2892 重要文化財
日本画	浦上玉堂 醉雲醒月図□ 文政元(1818)年	木村定三コレクションM2893 重要文化財
日本画	浦上玉堂 深山渡橋図□ 文政元(1818)年	木村定三コレクションM2894 重要文化財
書	浦上玉堂 隸體章句□ 文政元(1818)年	木村定三コレクションM2895 重要文化財
日本画	青木木米 高士弹琴図扇面■ 文政8(1825)年	木村定三コレクションM2036 重要文化財
日本画	中林竹洞 山水図■ 文政7(1824)年	木村定三コレクションM1899
日本画	山本梅逸 蓬萊山水図□ 江戸時代後期(19世紀)	木村定三コレクションM1804
日本画	与謝蕪村 紫陽花にほととぎす図■ 江戸時代中期(18世紀後半)	木村定三コレクションKT129
日本画	与謝蕪村 若竹図□ 江戸時代中期(18世紀後半)	木村定三コレクションKT130
日本画	呉春 急須に燭台図■ 江戸時代後期(18世紀末-19世紀初)	木村定三コレクションM1801
日本画	井上士朗 老松図□ 江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀初)	木村定三コレクションM2055
日本画	村瀬太乙 菊図■ 江戸時代後期(19世紀)	木村定三コレクションM2087
日本画	青木蒲堂 花の塔図□ 江戸時代後期(19世紀)	木村定三コレクションM1754
日本画	風外蕪蕪 芦葉達磨図■ 江戸時代前期(16世紀後半-17世紀前半)	木村定三コレクションM2131
日本画	松花堂昭乗 達磨図□ 江戸時代前期(17世紀前半)	木村定三コレクションM1929

日本画	白隠慧鶴 吉田猿猴図■ 江戸時代中期(18世紀)	木村定三コレクションM1988
日本画	仙厓義梵 豊年図■ 天保2(1831)年	木村定三コレクションM1975
日本画	仙厓義梵 趙州狗子図□ 江戸時代後期(18世紀後半-19世紀前半)	木村定三コレクションM1974
日本画	伊藤若冲 六歌仙図■ 寛政3(1791)年	木村定三コレクションM2029
日本画	長澤蘆雪 眼下千丈図■ 江戸時代中期(18世紀後半)	木村定三コレクションM1913
日本画	椿椿山 小集図録及び書簡□ 天保11(1840)年	田原市博物館 重要文化財

展示室8 木村定三コレクション 文人趣味と煎茶

日本画	富岡鉄斎 虎僊育席子図 大正3(1914)年	木村定三コレクションM1772
日本画	小川芋銭 若葉に蒸さるる木精■ 大正10(1921)年	木村定三コレクションKT013
日本画	富岡鉄斎 円窓三景図(鴨川眺景図・通天紅葉図・嵐山春眺図)□ 大正13(1924)年	木村定三コレクションM1779
工芸	蓬萊硯 中国・北宋時代(11世紀)	木村定三コレクションM2347
工芸	壺様硯 中国・元時代(13世紀-14世紀)	木村定三コレクションM2360
工芸	瓦硯 中国・明時代(15世紀-16世紀)	木村定三コレクションM2359
工芸	日月硯 中国・明時代(15世紀-16世紀)	木村定三コレクションM2353
工芸	康熙御題硯 中国・清時代(17世紀-18世紀)	木村定三コレクションM2352
工芸	鯉魚硯 明時代後期(17世紀前半)	木村定三コレクションM2345
工芸	黒漆鋸齒石畳文螺鈿筆 鞘付 中国・明時代-清時代(16世紀-17世紀)	木村定三コレクションM1598
工芸	古銅連山形筆架 江戸時代末期-明治時代(19世紀)	木村定三コレクションM2330
工芸	古銅虎文鎮 江戸時代末期-明治時代(19世紀)	木村定三コレクションM2330
工芸	諫鼓水滴 江戸時代後期または中国・清時代(19世紀)	木村定三コレクションM2842
工芸	青木木米 白泥三峰炉(揚名合利) 江戸時代後期(19世紀)	木村定三コレクションM1563
工芸	鉄透彫鍍金唐草文炉台■ 中国・明時代(16世紀-17世紀)	木村定三コレクションM1449

考古遺物	青玉璧□ 中国・新石器時代後期(紀元前3000年-紀元前2000年)	木村定コレクションM2275
工芸	青磁三足炉 龍泉窯、元時代～明時代初(14世紀～15世紀初)	木村定コレクションM1240
工芸	湯罐(保富羅・御所柿手) 福建南部、清時代(18世紀～19世紀)	木村定コレクションM1555
工芸	白磁瓢形水注 景德鎮窯、元時代(14世紀)	木村定コレクションM1557
工芸	青花山水文水注(古染付) 景德鎮窯、明時代末(17世紀前半)	木村定コレクションM1188
工芸	三彩鯪文水注 石湾窯、清時代(18世紀～19世紀)	木村定コレクションM1556
工芸	永楽保全 交趾写魚形水注 江戸時代後期(19世紀)	木村定コレクションM1230
工芸	稜花形茶心壺■ 江戸時代後期-明治時代(19世紀)	木村定コレクションM1559
工芸	筋文茶壺□ 明治時代(19世紀)	木村定コレクションM1560
工芸	斑竹仙媒 制作年不詳	木村定コレクションM2836
工芸	紫砂茶壺(烏泥茶鉢)■ 宜興窯、清時代(18世紀～19世紀)	木村定コレクションM1596
工芸	紫砂茶壺(紫泥茶鉢)□ 宜興窯、清時代(18世紀～19世紀)	木村定コレクションM2245
工芸	籐組み瓶床 塗台付■ 制作年不詳	木村定コレクションM1564
工芸	集木輪花式茶鉢蓋□ 中国・清時代末期-中華民国時代(20世紀)	木村定コレクションM1400
工芸	青木木米 南蛮写急須■ 江戸時代後期(19世紀)	木村定コレクションM1554
工芸	青木木米 南蛮写急須□ 江戸時代後期(19世紀)	木村定コレクションM1552
工芸	青木木米 白磁双龍宝珠文急須■ 江戸時代後期(19世紀)	木村定コレクションM1553
工芸	富岡鉄斎／富岡春子 染付菊文急須□ 大正時代(1910年代後半)	木村定コレクションM2248
工芸	青花鶏文杯■ 景德鎮窯、明時代末(17世紀前半)	木村定コレクションM1550
工芸	青花草花文杯■ 景德鎮窯、明時代末(17世紀前半)	木村定コレクションM2373
工芸	青花高土図杯□ 景德鎮窯、明時代末～清時代初(17世紀)	木村定コレクションM1474
工芸	青花梵字文杯□ 德化窯、清時代(18世紀～19世紀)	木村定コレクションM1558

工芸	輪花形茶托■ 中国・清時代(18世紀-19世紀)	木村定コレクションM1569
工芸	稜花形茶托□ 中国・清時代後期-中華民国時代(19世紀-20世紀)	木村定コレクションM1567
工芸	六花形茶托■ 江戸時代または中国・清時代(18世紀-19世紀)	木村定コレクションM1568
工芸	稜花形茶托□ 江戸時代または中国・清時代(18世紀-19世紀)	木村定コレクションM2837
工芸	黒漆楼閣人物図螺鈿四方盆■ 中国・明時代(16世紀-17世紀)	木村定コレクションM1385
工芸	黒漆楼閣人物図螺鈿軸盆□ 中国・明時代(16世紀-17世紀)	木村定コレクションM1028
工芸	斑竹寄木長角盆 中国・清時代末期-中華民国時代(19世紀-20世紀)	木村定コレクションM1532
工芸	竹縁四方盆□ 江戸時代後期-明治時代(19世紀)	木村定コレクションM1388
工芸	黒漆竹縁盆■ 江戸時代後期-明治時代(19世紀)	木村定コレクションM1383
工芸	陽刻楼閣山水図巾筒■ 中国・清時代後期(19世紀-20世紀)	木村定コレクションM2224
工芸	灰釉銀杏形巾筒□ 江戸時代(18世紀-19世紀)	木村定コレクションM1583
工芸	五彩花卉文角杯■ 景德鎮窯、明時代末(17世紀)	木村定コレクションM1652
工芸	破笠細工唐墨香合□ 江戸時代後期-明治時代(19世紀)	木村定コレクションM1507
工芸	一望斎手補 青花牡丹唐草文水注 景德鎮窯、清時代(18世紀～19世紀)	木村定コレクションM1593
工芸	大橋秋二 青磁建水 江戸時代後期(19世紀)	木村定コレクションM1191
工芸	四代 早川尚古斎 提梁烏府 昭和2(1927)年	木村定コレクションM1671
工芸	青木木米 三彩龍鳳文三足香炉 江戸時代後期(19世紀)	木村定コレクションM1527
工芸	騎牛人物香立 中国・清時代(17世紀-19世紀)	木村定コレクションM1595
工芸	丸太背負唐子香立 江戸時代後期-明治時代(19世紀)	木村定コレクションM2251
考古遺物	白磁龍型帶鉤香枕 中国・清時代後期(19世紀)	木村定コレクションM2272
考古遺物	翡翠帶鉤香枕 中国・清時代後期-中華民国時代(19世紀-20世紀)	木村定コレクションM2239
工芸	黒漆楼閣人物図螺鈿卓■ 中国・明時代(16世紀-17世紀)	木村定コレクションM1732

工芸	黒漆花鳥人物図螺鈿棚□ 中国・明時代-清時代(16世紀-17世紀)	木村定コレクションM2622
工芸	富岡鉄斎 竹詩画器局 銘「瞑雲」□ 明治時代後期-大正時代初期(1907-1917年頃)	木村定コレクションM2621
工芸	金銅装笈■ 室町時代(16世紀)	木村定コレクションM628
工芸	青花網目文碗(古染付)■ 景德鎮窯、明時代末(17世紀前半)	木村定コレクションM1366
工芸	藍釉盤■ 景德鎮窯、清時代(18世紀～19世紀)	木村定コレクションM1335
工芸	緑釉日本地図角鉢■ 江戸時代後期(18世紀後半-19世紀)	木村定コレクションM2374
工芸	黒釉籠形鉢□ 江戸時代後期(19世紀)	木村定コレクションM1349
工芸	砂張小盆□ 江戸時代中期-後期(18世紀-19世紀)	木村定コレクションM1534
工芸	富岡鉄斎 長角梅花図鉢□ 大正10年(1921年)	木村定コレクションM1356
工芸	金銅如意■ 江戸時代または中国・明時代(17世紀)	木村定コレクションM924
工芸	鉄如意□ 明治時代(19世紀)	木村定コレクションM923
工芸	青花花鳥文瓶 景德鎮窯、明時代末(17世紀前半)	木村定コレクションM1294
工芸	青花唐草文瓢形瓶 景德鎮窯、明時代末(17世紀前半)	木村定コレクションM1259
工芸	青磁魚耳三唐子／四唐子花生(七官青磁) 明時代後期(16世紀～17世紀前半)	木村定コレクションM1296
工芸	茶葉木釉瓶 景德鎮窯、清時代末～民国以降(19世紀～20世紀)	木村定コレクションM1258

前室2

彫刻・立体	あさいますお 題名不詳	個人蔵 1959年頃
絵画	設楽知昭 オオサカ	土崎正彦氏(旧白土倉) 寄贈 2010年
水彩・素描	鋤柄ふくみ 雑誌15_01	土崎正彦氏(旧白土倉) 寄贈 2009年
絵画	鋤柄ふくみ ミンシユ	土崎正彦氏(旧白土倉) 寄贈 2010年
絵画	坂本夏子 Tiles, 髪	土崎正彦氏(旧白土倉) 寄贈 2007年
絵画	坂本夏子 Painters	2009年

資料	玉琮■ 中国・新石器時代後期(紀元前3000年-紀元前2000年)	木村定三コレクションKT147
考古遺物	青玉璧□ 中国・新石器時代後期(紀元前3000年-紀元前2000年)	木村定三コレクションM2276
考古遺物	青玉穀粒獸文璧□ 中国・前漢時代(紀元前3世紀-紀元前1世紀)	木村定三コレクションM2274
考古遺物	饗養文爵■ 中国・清時代(17世紀-20世紀)	木村定三コレクションM2283
考古遺物	饗養文尊□ 中国・清時代(17世紀-20世紀)	木村定三コレクションM307

10階屋上庭園 (レストラン脇)

彫刻・立体	アルナルド・ボモドーロ 財団法人日本宝くじ協会寄贈 飛躍の瞬間 1984年
-------	---------------------------------------------

屋外展示スペース I (12階屋上)

彫刻・立体	コルネリス・ジットマン カリブの女 1983年
-------	-------------------------------

彫刻・立体	加藤昭男 大地 1986年
-------	---------------------

彫刻・立体	小田襄 円柱の構造 1988年
-------	-----------------------

屋外展示スペース II (10階)

彫刻・立体	今井瑾郎 大地 1992年
-------	---------------------

12階アールスペースロビー

彫刻・立体	舟越保武 花を持つ少女 1966年
-------	-------------------------

2022年度第3期コレクション展展示作品リスト（2023年1月14日（土）— 3月14日（火））

若手支援として特別枠で収集した作品を公開したほか、豊田市美術館と2館同時期開催という形式で、愛知県出身のアーティスト徳富満の活動を回顧する展示を行った。

展示室5・プラスキューブ 令和4年度新収蔵作品展

絵画	やましたあつこ 二人だけの夜	令和2年度新収蔵作品 2019年
絵画	浅井裕介 野生の星	令和4年度新収蔵作品 2019年
絵画	浅井裕介 その島にはまだ言葉がありませんでした	令和4年度新収蔵作品 2020年
絵画	加藤巧 マカロニ	令和3年度新収蔵作品 2019-2020年
絵画	川内理香子 Cook	令和4年度新収蔵作品 2022年
彫刻・立体	高山陽介 無題(犬と散歩してつまづく)	令和2年度新収蔵作品 2019年
彫刻・立体	高山陽介 無題(頭部 #58)	令和2年度新収蔵作品 2018年
彫刻・立体	高山陽介 無題(頭部 #57)	令和2年度新収蔵作品 2018年
彫刻・立体	高山陽介 無題(頭部 #63)	令和2年度新収蔵作品 2019年
絵画	今井俊介 untitled	令和4年度新収蔵作品 2017年
絵画	柴田麻衣 tent "morning"	令和4年度新収蔵作品 2017年
絵画	柴田麻衣 tent "noon"	令和4年度新収蔵作品 2017年
絵画	柴田麻衣 tent "night"	令和4年度新収蔵作品 2017年
絵画	櫃田伸也 過ぎ行く風景	令和4年度新収蔵作品 1979年
絵画	櫃田伸也 通り過ぎた風景	令和4年度新収蔵作品 1982年
絵画	登山博文 題名不詳	令和4年度新収蔵作品 1995年頃
絵画	登山博文 Bellis Perennis	令和4年度新収蔵作品 1997年
絵画	登山博文 0040-1	令和4年度新収蔵作品 2002年
絵画	登山博文 drawing tableau V	令和4年度新収蔵作品 2008年

写真	城戸保 木と車(駐車空間)シリーズより	令和4年度新収蔵作品 2020年
写真	城戸保 駐車建築(駐車空間)シリーズより	令和4年度新収蔵作品 2020年
写真	城戸保 駐車空間(駐車空間)シリーズより	令和4年度新収蔵作品 2017年
版画	藤田典子 nightmare	令和4年度新収蔵作品 2013年
版画	藤田典子 wild bird	令和4年度新収蔵作品 2011年
版画	藤田典子 great escape	令和4年度新収蔵作品 2017年
版画	藤田典子 kindergarten	令和4年度新収蔵作品 2011年
写真	尾野訓大 実らずとも	令和4年度新収蔵作品 2013年(2022年リプリント)
彫刻・立体	平田尚也 Six-fold summon #1(samurai sword)	令和4年度新収蔵作品 2021年
彫刻・立体	平田尚也 Bogus romance #14(lined warrior)	令和4年度新収蔵作品 2021年
映像	平田尚也 Bathroom prose	令和4年度新収蔵作品 2021年
水彩・素描	谷澤紗和子 はいけい ちえこ さま —鈴蘭—	令和4年度新収蔵作品 2021年
水彩・素描	谷澤紗和子 はいけい ちえこ さま —うちなるこゑたましいにきく—	令和4年度新収蔵作品 2021年
水彩・素描	谷澤紗和子 はいけい ちえこ さま —土産—	令和4年度新収蔵作品 2021年
水彩・素描	谷澤紗和子 はいけい ちえこ さま —柘榴—	令和4年度新収蔵作品 2021年
水彩・素描	谷澤紗和子 はいけい ちえこ さま —NO—	令和4年度新収蔵作品 2021年
水彩・素描	谷澤紗和子 はいけい ちえこ さま —太陽—	令和4年度新収蔵作品 2021年
絵画	三瓶玲奈 色を見る	令和4年度新収蔵作品 2022年
イラストレーション	栗木義夫 Glove Stand	令和4年度新収蔵作品 2008年
水彩・素描	鈴木悠哉 archegraph study_Minato	令和4年度新収蔵作品 2016年

絵画	花木彰太 border (20-1)	令和4年度新収蔵作品 2020年
絵画	花木彰太 border (20-2)	令和4年度新収蔵作品 2020年
絵画	花木彰太 border (20-3)	令和4年度新収蔵作品 2020年
絵画	花木彰太 border (20-4)	令和4年度新収蔵作品 2020年
絵画	花木彰太 border (20-5)	令和4年度新収蔵作品 2020年
絵画	花木彰太 constellation (ANTLIA)	令和4年度新収蔵作品 2019年
絵画	花木彰太 constellation (CAELUM)	令和4年度新収蔵作品 2019年
絵画	花木彰太 constellation (NORMA)	令和4年度新収蔵作品 2020年
絵画	花木彰太 constellation (PICTOR)	令和4年度新収蔵作品 2019年
絵画	花木彰太 constellation (SCULPTOR)	令和4年度新収蔵作品 2019年
絵画	大塚泰子 Colorless	令和4年度新収蔵作品 2009年
絵画	大塚泰子 Colorless	令和4年度新収蔵作品 2009年
彫刻・立体	大塚泰子 水の彫刻	令和4年度新収蔵作品 2018年
彫刻・立体	大塚泰子 空の彫刻	令和4年度新収蔵作品 2019年
映像	キュンチョメ 遠い世界を呼んでいるようだ	令和4年度新収蔵作品 2013年
映像	キュンチョメ ウンをつくった話	令和4年度新収蔵作品 2015年
映像	キュンチョメ 空蟬Crush!	令和4年度新収蔵作品 2017年
展示室6 熊谷守一 —— 木村定三の眼		
絵画	熊谷守一 線裸	木村定三コレクションKT109 1927(昭和2)年
絵画	熊谷守一 裸	木村定三コレクションM273 1937(昭和12)年

絵画	熊谷守一 麥畑	木村定三コレクションM279 1939(昭和14)年
絵画	熊谷守一 伸餅	木村定三コレクションKT093 1949(昭和24)年
絵画	熊谷守一 引潮	木村定三コレクションKT094 1951(昭和26)年
絵画	熊谷守一 蓼科牧	木村定三コレクションM274 1951(昭和26)年
絵画	熊谷守一 土饅頭	木村定三コレクションKT097 1954(昭和29)年
絵画	熊谷守一 漁村	木村定三コレクションKT099 1954(昭和29)年
絵画	熊谷守一 裸婦	木村定三コレクションKT110 1954(昭和29)年
絵画	熊谷守一 石亀	木村定三コレクションKT100 1957(昭和32)年
絵画	熊谷守一 百日草	木村定三コレクションKT107 1958(昭和34)年
絵画	熊谷守一 たまご	木村定三コレクションKT102 1959(昭和34)年
絵画	熊谷守一 雨滴	木村定三コレクションKT104 1961(昭和36)年
絵画	熊谷守一 少女	木村定三コレクションKT105 1963(昭和38)年
絵画	熊谷守一 猫	木村定三コレクションM2461 1963(昭和38)年
絵画	熊谷守一 瓜	木村定三コレクションKT106 1965(昭和40)年
日本画	熊谷守一 蜻蛉	木村定三コレクションM271 1944(昭和19)年
日本画	熊谷守一 蟻の会話	木村定三コレクションM2464 1944(昭和19)年
日本画	熊谷守一 縁側	木村定三コレクションM257 1949(昭和24)年
日本画	熊谷守一 蝦蟇	木村定三コレクションM245 1954(昭和29)年
日本画	熊谷守一 蝶にゼラニウム	木村定三コレクションM276 1965(昭和40)年
漆・素描	熊谷守一 普賢菩薩	木村定三コレクションKT324 1951(昭和26)年
書	熊谷守一 蒼蠅	木村定三コレクションKT073 1941(昭和16)年
書	熊谷守一 心月輪	木村定三コレクションKT072 1940(昭和15)年

書	熊谷守一 年々歳々来無名蟲	木村定三コレクションKT074 1949(昭和24)年
書	熊谷守一 淡如水	木村定三コレクションKT076 1962(昭和37)年
書	熊谷守一 壺中有天地	木村定三コレクションKT080 1958(昭和33)年
彫刻・立体	熊谷守一 臥裸婦	木村定三コレクションKT084 1955(昭和30)年
彫刻・立体	熊谷守一 裸	木村定三コレクションKT082 1952(昭和27)年
彫刻・立体	熊谷守一 はだか	木村定三コレクションKT083 1952(昭和27)年
工芸	熊谷守一(絵)、早川春泰(茶碗) かまきり	木村定三コレクションM771 1941(昭和16)年
工芸	熊谷守一(絵)、早川春泰(茶碗) 熟柿(志野茶碗 銘「秋色」)	木村定三コレクションM770 1941(昭和16)年
工芸	熊谷守一(絵)、早川春泰(茶碗) 蝸牛	木村定三コレクションM769 1941(昭和16)年
工芸	熊谷守一(絵)、村瀬善九(花瓶) 堇花	木村定三コレクションKT066 1941(昭和16)年
工芸	熊谷守一(絵)、村瀬善九(花瓶) 林中裸	木村定三コレクションKT067 1941(昭和16)年
工芸	熊谷守一(絵)、加藤青山(壺) 熊蜂	木村定三コレクションKT068 1947(昭和22)年
工芸	熊谷守一(絵)、村瀬善九(花瓶) 二匹かまきり	木村定三コレクションKT064 1941(昭和16)年

前室2・展示室7 徳富満 — テーブルの上の宇宙

彫刻・立体	徳富満 三輪車	徳富洋司氏寄贈 1992年
彫刻・立体	徳富満 三輪車	徳富洋司氏寄贈 1992年
インスタレーション	徳富満 Crystallization	1995年
絵画	徳富満 untitled(unfinished painting)	徳富洋司氏寄贈 2000年
絵画	徳富満 untitled(unfinished painting)	徳富洋司氏寄贈 2000年
絵画	徳富満 untitled(unfinished painting(才能の証))	徳富洋司氏寄贈 2000年
絵画	徳富満 untitled(unfinished painting)	徳富洋司氏寄贈 2000年
絵画	徳富満 untitled(unfinished painting)	徳富洋司氏寄贈 2000年

絵画	徳富満 untitled(unfinished painting)	徳富洋司氏寄贈 2000年
絵画	徳富満 untitled(unfinished painting)	徳富洋司氏寄贈 2000年
絵画	徳富満 untitled(unfinished painting)	徳富洋司氏寄贈 2000年
絵画	徳富満 untitled(unfinished painting)	徳富洋司氏寄贈 2000年
絵画	徳富満 untitled(unfinished painting(輪郭の嵐))	徳富洋司氏寄贈 2000年
彫刻・立体	徳富満 +-∞	2001年
彫刻・立体	徳富満 zero	2001年
資料	徳富満 絵画シリーズ「a modest creation」の ためのスタディ	徳富洋司氏寄贈 2001年
資料	徳富満関連資料	個人蔵

展示室8 岡本柳南 —— 大正名古屋の南画家

工芸	中村道年(初代)、岡本柳南 赤楽嵐山絵茶碗	木村定三コレクションM919 大正期(20世紀)
工芸	岡本柳南 梅の絵 白楽茶碗	木村定三コレクションM920 大正13(1924)年
工芸	岡本柳南 赤楽茶碗 鯉鱈	木村定三コレクションM921 大正13(1924)年
工芸	岡本柳南 松の絵 赤楽茶碗	木村定三コレクションM922 大正13(1924)年
日本画	山本梅逸 薔薇に綬帯鳥図	木村定三コレクションM1807 嘉永元(1848)年
日本画	岡本柳南 老松長壽	木村定三コレクションM472 20世紀初頭
日本画	岡本柳南 菊花報喜	木村定三コレクションM472 20世紀初頭
日本画	岡本柳南 秋汀鶴鴛	木村定三コレクションM470 大正12(1923)年
日本画	岡本柳南 秋草	木村定三コレクションM483 大正12(1923)年
日本画	岡本柳南 鴟声披秋	木村定三コレクションM506 昭和3(1928)年
日本画	岡本柳南 葉鶏頭	木村定三コレクションM508 大正15(1926)年
日本画	岡本柳南 淡彩秋景山水	木村定三コレクションM490 大正10(1921)年

日本画	岡本柳南 漁邨秋晩	木村定三コレクションM486 昭和2(1927)年
日本画	岡本柳南 春景山水(柳山水)	木村定三コレクションM465 大正13(1924)年
日本画	岡本柳南 松林山水	木村定三コレクションM466 大正15(1926)年
日本画	岡本柳南 松濤晚趣	木村定三コレクションM498 大正13(1924)年
日本画	岡本柳南 松岳秋雲	木村定三コレクションM487 大正13(1924)年
日本画	岡本柳南 松深太古音	木村定三コレクションM1857 昭和2(1927)年
日本画	岡本柳南 嵐山花開	木村定三コレクションM473 20世紀前半
日本画	岡本柳南 竹林漁夫	木村定三コレクションM471 昭和6(1931)年

日本画	岡本柳南 兎の餅つき	木村定三コレクションM511 大正3(1914)年
日本画	岡本柳南 蜘蛛	木村定三コレクションM513 大正11(1922)年
日本画	岡本柳南 墨梅	木村定三コレクションM502 20世紀前半
日本画	岡本柳南 暗香浮動	木村定三コレクションM503 昭和6(1931)年
日本画	岡本柳南 朧月	木村定三コレクションM501 昭和7(1932)年

10階屋上庭園 (レストラン脇)

彫刻・立体	アルナルド・ポモドーロ 財団法人日本宝くじ協会寄贈 飛躍の瞬間	1984年
-------	------------------------------------	-------

屋外展示スペース I (12階屋上)

彫刻・立体	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年
彫刻・立体	加藤昭男 大地	1986年
彫刻・立体	小田襄 円柱の構造	1988年

屋外展示スペース II (10階)

彫刻・立体	今井瑾郎 大地	1992年
-------	------------	-------

12階アートスペースロビー

彫刻・立体	舟越保武 花を持つ少女	1966年
-------	----------------	-------

移動美術館

名称: 愛知県美術館・愛知県陶磁美術館 移動美術館2022
「もじもえもじも」

会期: 2022年9月17日(土) - 11月27日(日) [62日間]

会場: 西尾市岩瀬文庫 企画展示室

担当: 中野悠・藤島美菜・深山孝彰(愛知県美術館)、小川裕紀(愛知県陶磁美術館)、上野加耶子(西尾市岩瀬文庫)

休館日: 毎週月曜日(9月19日[月・祝]、10月10日[月・祝]は開館)、10月20日(木)、11月17日(木)

観覧料: 無料

主催: 愛知県美術館、愛知県陶磁美術館、西尾市岩瀬文庫

出品点数: 愛知県美術館(日本画4件、絵画5件、版画5件、彫刻・立体3件、計17件)、愛知県陶磁美術館(陶磁器14件)、西尾市岩瀬文庫(古典籍14件) 計45件

入場者数: 5,653人(1日平均88人)

内容と結果: 愛知県美術館は、1994年度から年に1度、県内各地で移動美術館を開催している。西尾市岩瀬文庫で開催の今回は、同文庫が書物のミュージアムであることにちなみ、「もじもえもじも」と題して文字や書物にまつわる作品を展示した。愛知県美術館からは、小出檐重やクルト・シュヴィッター

スらの絵画、ジョルジュ・ブラックやパブロ・ピカソらの版画、近衛信尹や吉川霊華らの日本画、荒木高子や福田尚代らの立体作品等17件を展示した。愛知県陶磁美術館のコレクションからは、文房陶磁や刻字陶磁、荒木高子や西村陽平らの陶磁作品等14件を紹介した。そして、これらの作品に対応する西尾市岩瀬文庫の古典籍14件が出品された。

関連事業では、記念講演会や展示説明会(スライドトーク)、古文書講座を実施した。学校団体鑑賞会には、近隣小学校が団体で参加した。

関連事業:

1 記念講演会

第1回

日時: 2022年9月17日(土) 午後2時~3時

参加者: 30人

会場: 岩瀬文庫地階 研修ホール

講師: 拝戸雅彦(愛知県美術館館長)

演題: 「文字と美術—愛知県美術館の作品を中心に」

第2回

日時: 2022年10月1日(土) 午後2時~3時

参加者: 30人

会場: 岩瀬文庫地階 研修ホール

講師: 佐藤一信(愛知県陶磁美術館館長)

演題: 「館蔵現代陶芸作品にみる文字表現」



ポスター



カタログ表紙

2 展示説明会（スライドトーク）

日 時：①2022年9月24日（土）午後2時～2時45分

参加者：15人

②2022年10月1日（土）午後2時～2時45分

参加者：25人

③2022年10月15日（土）午後2時～2時45分

参加者：10人

会 場：岩瀬文庫地階 研修ホール

講 師：①中野悠（愛知県美術館）、②小川裕紀（愛知県陶磁美術館）、③上野加耶子（西尾市岩瀬文庫）

3 古文書講座「昔の“文字”を読んでみよう！」

日 時：2022年11月5日（土）

①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時

参加者：40人

会 場：岩瀬文庫地階 研修ホール

講 師：上野加耶子（西尾市岩瀬文庫）

4 学校団体鑑賞

日 時：2022年10月19日（水）

鶴城小学校 105人 引率教員 7人

11月26日（土）

愛知県立芸術大学 7人 引率教員 1人

講 師：上野加耶子（西尾市岩瀬文庫）

関連記事：

・無記名「移動美術館「もじもえもじも」17日から岩瀬文庫で開幕」『三河新報』、2022年9月3日（土）

・無記名「愛知県美術館・陶磁美術館コレクション 岩瀬文庫で移動美術館 もじもえもじも」『愛三時報』、2022年9月21日（水）

・無記名「「もじもえもじも」11月27日まで岩瀬文庫で移動美術館」『三河新報』、2022年9月29日（木）

・角野峻也「浄瑠璃物語や花瓶、あふれる字」『中日新聞』朝刊（西三河版）、2022年10月4日（火）

・無記名「文字にまつわる作品」『朝日新聞』朝刊、2022年10月6日（木）

出演：

日時：9月28日（水）11時30分ごろ～10分間ほど

番組：エフエムキャッチ「Pitch HAPPY 市場」

出演：上野加耶子（西尾市岩瀬文庫）

日時：9月28日（水）12時45分ごろ～5分間ほど

番組：FM AICHI「DAYDREAM MAGIC」

出演：上野加耶子（西尾市岩瀬文庫）



展示風景

番号	分野	作家名	作品名	制作年	所蔵
1	絵画	小出橋重	N婦人像	1918年	
2	版画	アドルフ・フォン・メンツェル	ラインスベルクの公園でのフランツ・クーグララーの朗読 (『フランツ・クーグララー「フリードリヒ大王伝」のための木版画選』より)	1842年 (1983年刷)	風巻邦二氏寄贈 (風巻孝男氏旧蔵)
3	絵画	桂ゆき	わが太陽	1971年	木村定三コレクション M2709
4	絵画	アラン・デュッケ	ジョルジュ・サンドからの手紙	制作年不詳	木村定三コレクション M2590
5	版画	ジョルジュ・ブラック	Job	1911年 (1912年刷)	
6	版画	パブロ・ピカソ	男と犬	1914年 (1930年刷)	
7	絵画	クルト・シュヴィッターズ	メルツ絵画52、美容	1920年	
8	絵画	クルト・シュヴィッターズ	メルツ絵画305、ロボジツ	1921年	
9	版画	エーリッヒ・ヘッケル	フレンツィ (キルヒナーの油彩画に基づく)『ブリュッケ展カタログ版画集』	1910年	
10	版画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	テヴェレ川の砂掘り (ヘッケルの油彩画に基づく)『ブリュッケ展カタログ版画集』	1910年	
11	版画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	ブリュッケ准会員一覧3『ブリュッケ展カタログ版画集』	1910年	
12	版画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	ブリュッケ准会員一覧4『ブリュッケ展カタログ版画集』	1910年	
13	版画	オスカー・ココシユカ	『夢見る少年たち』	1907年 (1908年刊行)	
14	日本画	小川芋銭	金太郎とカッパ	制作年不詳	木村定三コレクション KT30
15	日本画	近衛信尹	渡唐天神図	江戸時代前期(17世紀前半)	木村定三コレクション M1984
16	日本画	白隠慧鶴	布袋図	江戸時代中期 (18世紀)	木村定三コレクション M1989
17	日本画	吉川霊華	宝船	1928年頃	木村定三コレクション M1876
18	彫刻・立体	荒木高子	砂の聖書	1983年	
19	彫刻・立体	福田尚代	翼あるもの『エミリーはのぼる』	2003年	黒川公二氏寄贈
20	彫刻・立体	福田尚代	書物の雲	2009-10年	黒川公二氏寄贈



展示風景

サテライト展示

2008年度からの覚書により、愛知県陶磁美術館常設展「日本と世界のやきもの」で下記4点を公開した。

入場者数：14,661人

番号	分野	作家名	作品名	制作年	所蔵
1	工芸		茶入 銘「八重垣」	江戸時代（17世紀前半）	木村定三コレクションM1416
2	工芸	長次郎	黒楽茶碗 銘「苔志水」	桃山時代（16世紀）	木村定三コレクションM820
3	工芸		青磁鶏首壺	浙江省、東晋時代（4～5世紀）	木村定三コレクションM1236
4	工芸		青磁瓜形水注	14世紀	木村定三コレクションM1232

2 企画展

企画展の開催状況

ミロ展——日本を夢みて

会 期：2022年4月29日（金・祝）～7月3日（日）[57日間]
会 場：愛知県美術館 展示室1-3
主 催：愛知県美術館、中日新聞社、東海テレビ放送
担 当：副田一穂（愛知県美術館主任学芸員）、芹澤なみき（愛知県美術館学芸員）
休 館 日：毎週月曜日
観 覧 料：一般1,800（1,600）円、高校・大学生1,200（1,000）円
中学生以下無料
（ ）内は前売り及び20名以上の団体料金

出品点数：140点

入場者数：53,375人

巡回先：Bunkamuraザ・ミュージアム、富山県美術館

内容と結果：

バルセロナに生まれた芸術家ジュアン・ミロ（1893-1983）の絵画や彫刻、版画、タペストリー、そしてやきものにまで及ぶ旺盛な創作活動の裏にあった、日本文化への深い造詣の紹介を主軸にして、ミロの90年の歩みを140点の作品と資料で辿った。新型コロナウイルス感染症による渡航制限前に2度にわたるスペインでの調査及び出品交渉を済ませていたことで、ジュアン・ミロ財団、マジョルカからの作品7点、資料20点弱を中心に、ニューヨークやマドリッド、バルセロナから優品を加え、さらに主要

な国内所蔵品を加えて展示を構成し、経費を抑えながらも豪華なラインナップを揃えることができた。入場者数は東京会場の7割近くに上り、人口比や感染症の状況を鑑みても、展覧会の魅力をしっかり発信して集客に繋げることができたと言える。

担当学芸員の長期的な研究の蓄積に基づき、ミロと日本との関わりというテーマを深掘りした内容は、海外メディアを含め新聞や美術雑誌の展評等においても高く評価され、日本で開催された西洋美術に関する展覧会活動を対象とする西洋美術振興財団賞を受賞した。

展覧会カタログ：

B5変型 213頁

編集 Bunkamuraザ・ミュージアム、愛知県美術館、富山県美術館、中日新聞社

執筆 リカル・ブル（バルセロナ自治大学准教授）、松田健児（慶應義塾大学准教授）、町田つかさ（和泉市久保惣記念美術館）、宮澤政男、吉川貴子（Bunkamuraザ・ミュージアム）、副田一穂、芹澤なみき（愛知県美術館）、碓井麻央、渡辺希利子、湯佐明子（富山県美術館）

翻訳 マーサ・マクリントク（和文英訳）、松嶋慧（西文和訳）、リチャード・ルイス・リース（西文英訳）、芹澤なみき（英文和訳）

デザイン 坂本佳子（大向デザイン事務所）

印刷 ライブアートブックス

発行 中日新聞社／東京新聞、フジテレビジョン

作品リスト：A3両面二つ折り 4頁

ジュニアガイド：B5両面 2頁



ポスター



カタログ表紙

関連事業：

1 スライドトーク（学芸員による展示説明会）

第1回

日 時：2022年5月14日（土）午前11時～11時40分

参加者：76人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

担 当：副田一穂（愛知県美術館主任学芸員）

第2回

日 時：2022年5月29日（日）午前11時～11時40分

参加者：91人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

担 当：副田一穂（愛知県美術館主任学芸員）

第3回

日 時：2022年6月10日（金）午後6時30分～7時10分

参加者：58人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

担 当：副田一穂（愛知県美術館主任学芸員）

第4回

日 時：2022年6月18日（土）午前11時～11時40分

参加者：92人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

担 当：副田一穂（愛知県美術館主任学芸員）

2 友の会会員のための特別鑑賞会

日 時：2022年5月5日（木）

午前10時30分～11時30分 参加者：20人

午後5時30分～7時 参加者：32人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

展示室1-3

担 当：副田一穂（愛知県美術館主任学芸員）

3 小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会

日 時：2022年5月14日（土）午後1時30分～2時

参加者：39人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

担 当：副田一穂（愛知県美術館主任学芸員）

関連記事

- ・副田一穂「ミロの目に映る日本」『美術の窓』479号、2021年12月
- ・片岡裕美子「ミロと日本を結ぶ糸」『芸術新潮』72巻12号、2021年12月
- ・松田健児「ミロ展——日本を夢みて」『民藝』830号、2022年2月
- ・María Roldán, “Una muestra en Tokio aborda la influencia y vision del Japón de Joan Miró,” Agencia EFE, 10 Feb. 2022

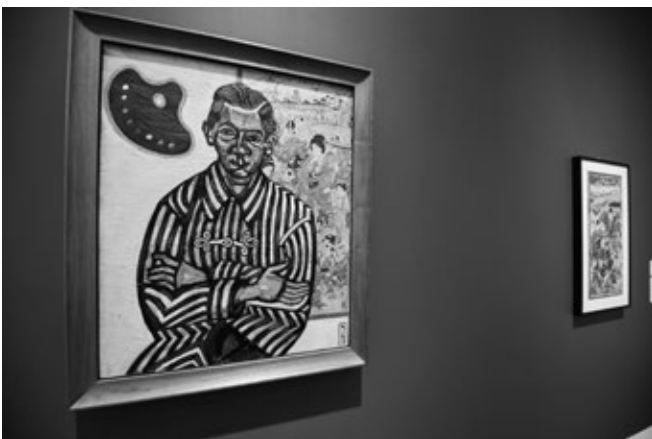
- ・Josep Solano, “Miró retorna al Japó,” El Punt Avui, 12 Feb. 2022
- ・無記名「ミロと日本の知られざる関係に迫る！世界初の大規模展 ミロ展——日本を夢みて」『情報誌AAC』111号、2022年3月
- ・J. M. Hammond, “Inspiration from Foreign Shores: The Impact of Japan on the Art of Joan Miró,” artscape Japan, Focus, March 1, 2022
- ・高橋咲子「評 展覧会 ミロ展 日本を夢見て」『毎日新聞』夕刊、2022年3月2日
- ・高階秀爾「目は語る 3月 ミロ展 日本を夢みて 表現者として欲した筆」『毎日新聞』2022年3月10日
- ・井上涼「美術でござる」『毎日小学生新聞』2022年3月13日
- ・森田陸「日本好き」ミロへの影響 検証進む」『読売新聞』朝刊、2022年3月17日
- ・副田一穂「素材は抵抗する ジュアン・ミロのテクスチュア」『美術の窓』41巻4号、2022年3月
- ・大西若人「深く柔らかく「内在する日本」」『朝日新聞』夕刊、2022年3月22日
- ・副田一穂「Curator's Voice ミロ展——日本を夢みて」美術手帖ウェブ（ウェブサイト）、2022年3月25日
- ・藤橋進「美術の巨匠ミロが日本から受けた本質的な影響」世界日報（ウェブサイト）、2022年3月26日
- ・久原穩「56年前にミロが谷中で毛筆を買っていた ピカソもお気に入りの逸品 店主にはお礼の版画贈る」『東京新聞』2022年3月28日
- ・藤田一人「異文化をつなぐ感覚的共感」『公明新聞』2022年3月30日
- ・嘉納礼奈「自由な表現への渴望 カタルーニャと民藝、「もの」と人の交流」美術展ナビ（ウェブサイト）2022年3月30日
- ・桐山正寿「日本文化への憧れ「ミロ展」東京で」『毎日新聞』夕刊、2022年3月31日
- ・Peter Tasker, “Restless Creativity in ‘Joan Miro and Japan’ Exhibition at the Bunkamura,” Japan Forward, April 6, 2022
- ・木下直之「その他の世界31 ミロを見る「ミロ展——日本を夢みて」」『週刊文春』2022年4月14日号
- ・和田彩花「和田彩花のカイエ・ド・アーと第13回 ミロ《シウラナ村》」美術展ナビ、2022年4月15日
- ・副田一穂「楽しさと怖さが踊る」『中日こどもWEEKLY』559号
- ・副田一穂「90年の生涯 多岐にわたる作品」『中日新聞』朝刊、2022年4月23日
- ・谷悠己「ミロが見た日本」上、中、下『中日新聞』朝刊、2022年4月26日、27日、28日
- ・無記名「ミロの日本文化愛 感じて」『中日新聞』2022年4月29日
- ・宮崎正嗣「Culture「ミロ展 日本を夢みて」愛知県美術館」『中日新聞』2022年5月12日

- ・杉野遙亮「私の1点(1) ミロ展——日本を夢みて」『中日新聞』、2022年5月17日
- ・武田双雲「私の1点(2) ミロ展——日本を夢みて」『中日新聞』、2022年5月18日
- ・結城昌子「私の1点(2) ミロ展——日本を夢みて」『中日新聞』、2022年5月19日
- ・和田彩花「私の1点(4) ミロ展——日本を夢みて」『中日新聞』、2022年5月20日
- ・片桐仁「私の1点(5) ミロ展——日本を夢みて」『中日新聞』、2022年5月21日
- ・伊勢崎淳「伊勢崎淳が語るジュアン・ミロ」『アートコレクターズ』生活の友社、2022年
- ・斉藤和音「ミロ展 オリジナルグッズ人気」『中日新聞』2022年5月28日
- ・「20世紀が誇る天才画家も、デッサンが下手だった!?若き日のジュアン・ミロを描いた漫画に反響」ウォーカープラス (<https://www.walkerplus.com/article/1084374/>)、2022年5月31日
- ・貴家映子「ミロと日本の終わらない物語」『AAC』112号、2022年6月1日
- ・中森麻未・宮崎正嗣「ミロ展 日本を夢みて 巨匠の空想世界へ」『中日新聞』、2022年6月2日
- ・松田健児「ミロ 夢みた日本(上) レプリカ見抜いた」『中日新聞』、2022年6月7日
- ・無記名(豊明・男・70)「ハイ編集局です ミロ展で知った新たな一面」『中日新聞』夕刊、2022年6月7日
- ・松田健児「ミロ 夢みた日本(下) 「ありきたり」に着目」『中日新聞』、2022年6月8日
- ・桂川大・山川陸「会場を構成する——経験的思考のプラクティス 第3回 分析：ミロ展——日本を夢みて」建築討論(ウェブサイト)、2022年6月9日

- ・副田一穂「MUSEUM ミロ、アルティガス「花瓶」」『毎日新聞』、2022年6月11日
- ・兼松諒「ミロの絵 自由に題名付けよう」『中日新聞』、2022年6月19日
- ・Isaac Ait Moreno, "Joan Miró and Japan," *Archivo Español de Arte*, vol. 95, núm. 378, 30 Junio 2022, pp. 208-209.
- ・「第17回西洋美術振興財団賞受賞者が決定。学術賞に片岡真実、副田一穂ら」美術手帖(ウェブサイト)、2022年8月22日
- ・「女性作家に光」ミロを言語化」西洋美術振興財団賞」『朝日新聞』、2022年11月15日
- ・「15人が選ぶ「2022年ベスト展覧会」！キュレーターや批評家、アライターのセレクトをコメントとともに振り返る」TOKYO ART BEAT(ウェブサイト)、2022年12月23日
- ・橋本梓「REVIEW ミロ展——日本を夢みて」『芸術批評誌 REAR』49号、2022年12月

テレビ・ラジオ・配信等

- ・FM AICHI「DAYDREAM MAGIC」2022年4月28日
- ・東海ラジオ「源石和輝！抽斗！」
- ・株式会社ダウンゴ「ニコニコ美術館」2022年5月16日(出演：愛知県美術館主任学芸員副田一穂、慶應義塾大学准教授 松田健児)
- ・NHKラジオ第一「ラジオ深夜便」2022年6月5日
- ・CBCラジオ「つボイノリオの聞けば聞くほど」2022年6月9日
- ・東海テレビ「NEWS ONE」2022年6月10日
- ・東海テレビ「スイッチ！」2022年6月14日
- ・NHK Eテレ「日曜美術館 ジュアン・ミロ 日本を夢見て」2022年6月19日



展示風景



展示風景

ジブリパークとジブリ展

会 期：2022年10月29日（土）～12月25日（日）[51日間]
 会 場：愛知県美術館 展示室1-3、ラウンジ
 主 催：愛知県美術館、中日新聞社
 協 賛：DNP大日本印刷、アイシン、NTPグループ、鹿島建設、トヨタ自動車
 企画制作協力：スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館、ジブリパーク
 後 援：愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、愛知県私立幼稚園連盟
 担 当：拝戸雅彦（愛知県美術館館長）、芹澤なみき（愛知県美術館学芸員）
 休 館 日：毎週月曜日（ただし、10月31日は開館）

観 覧 料：

日時指定
 平 日：一般1,700円、高大生1,100円、小中生600円
 土日祝：一般1,900円、高大生1,300円、小中生800円
 当日券
 全日共通：一般1,900円、高大生1,300円、小中生800円
 ※未就学児は無料

出品点数：1000点以上

入場者数：110,179人

巡 回 先：長野県立美術館、熊本県立美術館、神戸市立博物館、山口県立美術館、高知県立美術館



ポスター

内容と結果：

2022年11月1日に「愛・地球博記念公園」内にスタジオジブリ作品の世界を表現した公園施設、ジブリパークが開園するにあたって、ジブリパークに焦点を当てるとともに、その制作現場を指揮した宮崎吾郎監督がこれまで行ってきた制作活動も振り返る展覧会を開催した。ジブリパークの制作資料や試作品などを初めて公開したほか、宮崎吾郎監督が手掛けた初の3DCGアニメーション『アーヤと魔女』の制作プロセスなどを丁寧にたどり、ジブリパークの制作の裏側をのぞくことができるような展示構成となった。会場内では複数の撮影スポットを設け、展示の最後には、ジブリパークの企画展示のひとつである「ジブリのなりきり名場面展」から映画『千と千尋の神隠し』のワンシーンをイメージした、来場者自身が体験できる撮影スポットを用意した。本展を通じてジブリパーク開園に向けて機運を高めるとともに、ジブリパークを見に行った人もその舞台裏を見ることができるような展覧会になった。

展覧会カタログ：

なし

関連事業：

友の会会員のための特別鑑賞会

日時：2022年11月3日（木）

午後6時～7時 参加者：46人

会場：展示室1-3、ラウンジ

担当：拝戸雅彦（愛知県美術館館長）、芹澤なみき（愛知県美術館学芸員）



展示風景



展示風景

展覧会 岡本太郎

会 期：2023年1月14日（土）－3月14日（火）[56日間]
会 場：愛知県美術館 展示室1-4
主 催：愛知県美術館、公益財団法人岡本太郎記念現代芸術
振興財団、川崎市岡本太郎美術館、NHK名古屋放
送局、NHKエンタープライズ中部
協賛 NISSHA、三井住友海上
担 当：石崎尚（愛知県美術館主任学芸員）、黒田和士（愛
知県美術館学芸員）
休 館 日：1月16日（月）、2月6日（月）、2月20日（月）、3月6日（月）
観 覧 料：一般1,800（1,600）円、高校・大学生1,400（1,200）円
中学生以下無料
（ ）内は前売り及び20名以上の団体料金
出 品 点 数：300点
入 場 者 数：112,264人
巡 回 先：大阪中之島美術館、東京都美術館

内容と結果：

没後、中部圏としては初めてとなる岡本太郎（1911-96）の回顧展は、川崎市岡本太郎美術館と岡本太郎記念館の全面的な協力によって、ほぼ全ての代表作を網羅することが出来た。300点からなる大規模な展示は、戦後日本の前衛シーンを牽引したこの作家を検証するのに相応しいスケールとなり、展覧会準備の段階で新たに発見された、19～21歳のパリ時代のものや推測される作品も話題を呼んだ。愛知県との関わりを取り上げたコーナーや岡本太郎の言葉を集めた展示など、当館独自の試みも評価された。

新型コロナウイルスの影響も和らいだ時期の開催となったため、展覧会は11万人を超える来場者で賑わった。しかしその一方で、心ない来場者による作品損壊事故（2/23）が発生し、今後の大規模展における作品保全のあり方について課題を残した。



ポスター

展覧会カタログ：

B5変型 332頁

編集 東京都美術館 下倉久美・藪前知子、NHKプロモーション、黒川典是

執筆 公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団パリ作品評価委員会、平野暁臣、カミュー・モランド、藪前知子、大下裕司、石崎尚、下倉久美

翻訳 クリストファー・ステイヴンス(和文英訳)、中野勉(仏文和訳)

デザイン 中野豪雄、西垣由紀子、林宏香(中野デザイン事務所)

印刷 日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社

発行 NHK、NHKプロモーションズ

作品リスト：A3 3頁

ジュニアガイド：B5両面 2頁

関連事業：

1 スライドトーク(学芸員による展示説明会)

第1回

日時：2023年1月21日(土) 午前11:00~11:40

参加者：135人

会場：アートスペースA(愛知芸術文化センター12階)

担当：石崎尚(愛知県美術館主任学芸員)

第2回

日時：2023年1月29日(日) 午前11:00~11:40

参加者：130人

会場：アートスペースA(愛知芸術文化センター12階)

担当：石崎尚(愛知県美術館主任学芸員)

第3回

日時：2023年2月4日(土) 午前11:00~11:40

参加者：150人

会場：アートスペースA(愛知芸術文化センター12階)

担当：石崎尚(愛知県美術館主任学芸員)

第4回

日時：2023年2月24日(金) 午後6:30~7:10

参加者：150人

会場：アートスペースA(愛知芸術文化センター12階)

担当：石崎尚(愛知県美術館主任学芸員)

2 友の会会員のための特別鑑賞会

日時：1月26日(木)

午前10:30~11:30 参加者26人

午後5:30~7:00 参加者38人

会場：展示室(愛知芸術文化センター10階)、アートスペースA(愛知芸術文化センター12階)

担当：石崎尚(愛知県美術館主任学芸員)

3 小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会

日時：1月28日(土) 午後1:30~2:00

参加者：68人

会場：アートスペースA(愛知芸術文化センター12階)

担当：石崎尚(愛知県美術館主任学芸員)



カタログ表紙

関連記事：

- ・無記名「岡本太郎作品 300点勢ぞろい」『信濃毎日新聞』朝刊、2023年2月21日
- ・無記名「岡本太郎さん制作 ミニ太陽の塔損壊」『読売新聞』朝刊、2023年2月25日
- ・無記名「展示中『太陽の塔』殴った会社員逮捕」『中日新聞』朝刊、2023年2月25日
- ・無記名「50分の1『太陽の塔』たたいて壊した疑い」『朝日新聞』朝刊、2023年2月25日

- ・熊谷佐和子、酒井志帆「『太陽の塔』損壊 46歳会社員逮捕」『毎日新聞』朝刊、2023年2月25日
- ・松崎晃子「岡本太郎さん 愛知で展覧会二つ開催中」『中日新聞』夕刊、2023年2月25日
- ・無記名「『太陽の塔』の模型 今週末にも再展示」『中日新聞』朝刊、2023年2月28日
- ・無記名「岡本太郎作品 展示3日再開」『読売新聞』朝刊、2023年3月1日
- ・上田惇史、万屋直「『太陽の塔』修復再公開 県美術館 襲撃警戒 警備員配置」『読売新聞』朝刊2023年3月4日
- ・無記名「『太陽の塔』破損、不起訴」『読売新聞』朝刊、2023年4月21日
- ・無記名「ミニ『太陽の塔』不起訴」『中日新聞』朝刊、2023年4月21日
- ・無記名「作品破壊容疑 不起訴」『朝日新聞』朝刊、2023年4月21日
- ・無記名「模型損壊疑い 男性を不起訴」『毎日新聞』朝刊、2023年4月21日



展示風景



展示風景

これまでの企画展一覧（1992年度～2022年度）

展覧会タイトル	会 期		日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)
フォーヴィスムと日本近代洋画	92/10/30	92/12/20	45	41,343	919
近代の日本画—西洋との出会いと対話—	93/01/05	93/02/11	33	26,166	793
20世紀 愛知の美術	93/02/19	93/03/21	27	11,585	429
パウル・クレーの芸術	93/04/02	93/05/23	45	103,239	2,294
小川芋銭展	93/06/04	93/07/04	27	26,106	967
現代の陶芸 1950-1990	93/07/16	93/08/22	33	13,153	399
安田靉彦展	93/09/03	93/10/17	39	43,003	1,103
リール市美術館所蔵 バロック・ロココの絵画 ヴェネツィア派からゴヤまで	93/10/29	94/01/16	63	47,042	747
戸張孤雁と大正期の彫刻	94/01/25	94/03/06	36	7,996	222
クブカ展	94/03/18	94/05/08	45	33,652	748
画業70年のあゆみ 杉本健吉展	94/05/14	94/06/02	17	19,568	1,151
シカゴ美術館展—近代絵画の100年	94/06/10	94/07/24	38	89,204	2,347
レジェ展	94/08/05	94/09/11	33	22,793	691
「聖なるかたち」展	94/09/23	94/11/03	37	27,976	756
香月泰男展	94/11/18	95/01/16	46	27,164	591
アンドリュウ・ワイエス展	95/02/03	95/04/02	51	120,177	2,356
ウィーンのジャポニスム	95/04/11	95/05/14	30	27,803	927
フランツ・ゲルチュ展	95/05/26	95/07/02	33	22,392	679
還流—日韓現代美術展—	95/07/14	95/09/03	45	25,072	557
ウィンザー城王立図書館所蔵 レオナルド・ダ・ヴィンチ—人体解剖図—展	95/09/15	95/10/15	27	68,439	2,535
表現主義彫刻	95/10/27	96/01/15	64	12,428	194
リチャード・マイヤーとフランク・ステラー—建築と絵画の接点—	96/02/02	96/04/07	57	16,599	291
ルネサンスからバロックへ 大英博物館所蔵イタリア素描展	96/04/19	96/05/26	33	30,973	939
抽象表現主義展	96/07/26	96/09/16	46	19,005	413
富岡鉄斎展—理想郷を語る—	96/09/27	96/11/10	39	25,680	658
北川民次展	96/11/22	97/01/26	51	28,789	564
カンディンスキー&ミュンター 1901-1917	97/02/08	97/03/16	32	22,891	715
没後50年 ボナール展	97/03/28	97/05/18	45	54,094	1,202
北脇昇展	97/05/30	97/07/13	39	15,951	409
モダンデザインの父 ウィリアム・モリス	97/07/25	97/08/31	33	54,835	1,662
20世紀美術の冒険—セザンヌ、ファン・ゴッホから現在まで アムステルダム市立美術館コレクション展	97/09/12	97/11/03	46	31,750	690
イタリア美術 1945-1995 見えるものと見えないもの	97/11/14	98/01/15	48	16,739	349
近代美術の100年—愛知県美術館コレクションの精華—	98/01/30	98/03/08	33	17,985	545
川合玉堂展	98/03/20	98/05/05	41	70,936	1,730
久野真・庄司達展	98/05/15	98/06/07	21	10,236	487
オルブライト=ノックス美術館展	98/06/19	98/08/02	39	66,342	1,701
生誕100年記念 佐伯祐三展	98/08/16	98/09/27	37	39,972	1,080
アルトゥング展	98/10/09	98/12/13	57	18,845	331
没後50年 松本竣介展	99/01/08	99/02/21	39	24,551	630
フランス国立図書館特別協力 プッサンとラファエッロ—借用と創造の秘密—	99/03/05	99/04/11	33	13,387	406
ファウスト・メロッチェ展	99/04/23	99/06/13	45	13,614	303
前田寛治の芸術展—詩情と造形	99/07/02	99/08/22	45	14,851	330
危機の時代と絵画 1930-1945	98/09/03	98/10/17	39	8,379	215
—生誕100年—関根正二展	99/10/29	99/12/12	39	22,719	583
セザンヌ展	00/01/05	00/03/12	59	171,060	2,899

展 覧 会 タ イ ト ル	会 期		日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)
アムステルダム国立美術館所蔵 17世紀オランダ美術展 レンブラント、フェルメールとその時代	00/04/07	00/06/18	63	104,226	1,654
田中恭吉展	00/07/15	00/08/27	38	22,788	600
加納光於——「骨ノ鏡」あるいは色彩のミラージュ	00/09/15	00/11/05	45	11,606	258
「アメリカン・ドリームの世紀」展	00/11/23	01/01/28	52	25,390	488
生誕110年 岸田劉生展	01/02/09	01/04/01	45	38,752	861
メルツバッハー・コレクション展	01/04/13	01/05/27	39	47,245	1,211
ロダンと日本	01/06/22	01/08/19	51	57,339	1,124
バックミンスター・フラー展	01/09/14	01/11/04	45	10,962	244
世界遺産 ポンペイ展	02/02/08	02/04/07	51	101,367	1,988
大英博物館所蔵フランス素描展 フォンテーヌブローからヴェルサイユへ	02/04/26	02/06/30	57	25,638	450
韓国の色と光	02/07/26	02/09/23	52	10,652	205
ミロ展 1918-1945	02/10/04	02/12/01	51	83,084	1,629
中西夏之展 広さと近さ——絵の姿形	02/12/20	03/02/23	51	14,525	285
菱田春草展	03/04/11	03/05/18	33	53,578	1,624
戸谷成雄 森の襲の行方	03/06/06	03/07/27	45	12,934	287
レオン・スピリアルト展	03/08/05	03/09/23	43	15,674	365
弘法大師入唐1200年記念 空海と高野山	03/10/10	03/11/24	40	109,612	2,740
中村彝の全貌	04/01/06	04/02/29	48	20,004	417
ベン・ニコルソン	04/04/09	04/05/23	39	10,855	278
野見山暁治展	04/06/04	04/07/19	40	7,310	183
国吉康雄展	04/08/06	04/09/26	45	24,702	549
木村定三コレクションによる 熊谷守一展	04/10/08	04/12/05	51	17,555	344
2005年日本国際博覧会記念特別展「自然をめぐる千年の旅—山水から風景へ—」	05/03/11	05/05/08	51	63,052	1,236
アジアの潜在力——海と島が育んだ美術	05/05/24	05/07/10	42	8,109	193
ゴッホ展 孤高の画家の原風景 ゴッホ美術館/クレラー＝ミュラー美術館所蔵	05/07/26	05/09/25	54	423,745	7,847
生誕100年記念 吉原治良展	05/12/16	06/02/26	57	12,651	222
木村定三コレクションの江戸絵画—小世界を愉しむ—	06/03/10	06/05/07	63	14,260	226
愛知曼陀羅—東松照明の原風景—	06/06/02	06/07/23	45	18,181	404
愉しき家	06/08/04	06/10/01	51	13,831	271
ペルシャ文明展 煌めく7000年の至宝	06/10/13	06/12/10	51	62,194	1,219
ルソーの見た夢、ルソーに見る夢	06/12/20	07/02/12	42	35,389	843
プライスコレクション 若冲と江戸絵画	07/04/13	07/06/10	52	92,852	1,786
愛知・岐阜・三重 三県立美術館協同企画 No. 3 20世紀美術の森	07/06/29	07/08/26	51	13,964	274
サイクルとリサイクル	07/09/07	07/11/04	51	11,595	227
ロートレック展 バリ、美しき時代を生きて	07/11/13	08/01/14	49	50,042	1,021
新収蔵記念 杉本健吉	08/04/04	08/06/01	51	16,721	328
誌上のユートピア 近代日本の絵画と美術雑誌 1889-1915	08/06/14	08/07/27	38	9,545	251
ライオネル・ファイニンガー展	08/10/17	08/12/23	58	12,693	219
アンドリュウ・ワイエス——創造への道程	09/01/04	09/03/08	55	62,245	1,132
アヴァンギャルド・チャイナ—〈中国当代美術〉二十年—	09/04/03	09/05/24	45	11,051	246
生活と芸術——アーツ&クラフツ展	09/06/12	09/08/16	57	35,338	620
あいちトリエンナーレ2010 プレイバント 放課後のほらっば 櫃田伸也とその教え子たち	09/08/28	09/10/25	51	13,702	269
日本の自画像 写真が描く戦後 1945-1964	09/11/06	09/12/13	33	10,580	321
古代ローマ帝国の遺産	10/01/06	10/03/22	65	128,496	1,977
小川芋銭と珊瑚会の画家たち	10/04/09	10/05/23	39	8,607	221
あいちトリエンナーレ2010*	10/08/21	10/10/31	65	147,821	2,274
レンバッハハウス美術館所蔵「カンディンスキーと青騎士」展	11/02/15	11/04/17	54	22,647	419

展 覧 会 タ イ ト ル	会 期		日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)
麻生三郎展	11/04/29	11/06/12	39	9,532	244
棟方志功 祈りと旅	11/07/09	11/09/04	50	51,966	1,039
島田章三展	11/09/16	11/10/30	39	10,881	279
生誕100年 ジャクソン・ポロック展	11/11/11	12/01/22	58	42,531	733
魔術／美術—幻視の技術と内なる異界—	12/04/13	12/06/24	63	26,637	423
マックス・エルンスト——フィギュア×スケープ	12/07/13	12/09/09	51	18,148	356
生誕150年記念 クリムト 黄金の騎士をめぐる物語	12/12/21	13/02/11	41	82,214	2,005
円山応挙展 江戸絵画 真の実力者	13/03/01	13/04/14	39	73,022	1,872
プーシキン美術館展 フランス絵画300年	13/04/26	13/06/23	52	123,915	2,383
あいちトリエンナーレ2013*	13/08/10	13/10/27	72	114,869	1,595
クレラー=ミュラー美術館所蔵作品を中心に 印象派を超えて——点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで	14/02/25	14/04/06	39	78,666	2,017
シャガール展	14/04/17	14/06/08	47	82,328	1,752
これからの写真	14/08/01	14/09/28	51	16,440	322
デュフィ展	14/10/09	14/12/07	52	39,068	751
ロイヤル・アカデミー展	15/02/03	15/04/05	54	41,919	776
『月映』	15/04/17	15/05/31	39	9,561	245
生誕110年 片岡球子展	15/06/12	15/07/26	39	37,405	959
芸術植物園	15/08/07	15/10/04	51	17,900	351
ピカソ、天才の秘密	16/01/03	16/03/21	69	123,386	1,788
黄金伝説展	16/04/01	16/05/29	51	38,185	749
あいちトリエンナーレ2016*	16/08/11	16/10/23	68	75,575	1,111
ゴッホとゴーギャン展	17/01/03	17/03/20	67	225,041	3,359
フィンランド独立100周年記念 フィンランド・デザイン展	17/04/07	17/05/28	45	40,595	902
大エルミタージュ美術館展 オールドマスター 西洋絵画の巨匠たち	17/07/01	17/09/18	70	146,016	2,086
開館25周年記念 長沢芦雪展 京のエンターテイナー	17/10/06	17/11/19	39	74,849	1,919
あいちトリエンナーレ2019*	19/08/01	19/10/14	65	99,423	1,530
地球・爆——10人の画家による大共作展	19/11/01	19/12/15	39	5,227	134
コートールド美術館展 魅惑の印象派**	20/01/03	20/03/01	51	83,434	1,636
大浮世絵展 歌麿、写楽、北斎、広重、国芳 夢の競演**	20/04/03	20/04/05	3	910	303
ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展	20/09/19	20/12/06	74	106,060	1,433
GENKYO 横尾忠則 原郷から幻境へ、そして現況は？	21/01/15	21/04/15	75	19,575	261
トライアローグ 横浜美術館・愛知県美術館・富山県美術館 20世紀西洋美術コレクション	21/04/23	21/06/27	57	9,948	175
ジブリの大博覧会～ジブリパーク、開園まであと1年。～	21/07/17	21/09/23	64	206,345	3,224
曾我蕭白 寄想ここに極まれり	21/10/08	21/11/21	39	25,440	652
ミニマル／コンセプチュアル ドロテ&コンラート・フィッシャーと1960-70年代美術	22/01/22	22/03/13	44	7,244	165
ミロ展——日本を夢みて	22/04/29	22/07/03	57	53,375	936
国際芸術祭「あいち2022」STILL ALIVE 今、を生き抜くアートのちから*	22/07/30	22/10/10	73	46,893	642
ジブリパーク開園記念 ジブリパークとジブリ展	22/10/29	22/12/25	51	110,179	2,160
展覧会 岡本太郎	23/01/14	23/03/14	56	112,264	2,005
累計			6,137	6,238,559	1,017

一日平均は小数点以下を四捨五入

*愛知県美術館の開館日数および入場者数

**新型コロナウイルス感染症拡大防止のため当初予定の会期を繰り上げて閉幕

3 関連事業

国際芸術祭「あいち2022」

会 期：2022年7月30日（土）－10月10日（月・祝）[73日間]

主 催：国際芸術祭「あいち」組織委員会

参加アーティスト数：100組 ※32の国と地域から参加

兼務担当者：中村史子（愛知県美術館主任学芸員）、副田一穂（愛知県美術館主任学芸員）、黒田和士（愛知県美術館学芸員）、由良濯（愛知県美術館学芸員）、芹澤なみき（愛知県美術館学芸員）

入 場 者 数：487,834人

内容と結果：

2022年7月30日から10月10日までの73日間にわたり、国際芸術祭「あいち2022」を開催した。「STILL ALIVE 今、を生き抜くアートのちから」をテーマとして、現代美術展、パフォーマンスアート、ラーニング・プログラムや連携事業を展開し、コロナ禍下での開催であったにもかかわらず、国内外から48万人を超える多くの来場を得られ、盛況のうちに、無事終了することができた。

「あいち2022」では、ヨーロッパ、アジア、アフリカなど、世界32の国と地域からバランスよく100組のアーティストが参加した。芸術祭のテーマに呼応して、生きることの根源的な意味や人種、ジェンダーなどをモチーフにした様々な作品が展示され、世界の文化や歴史、社会の多様性を感じていただける貴重な機会になった。

会場については、地域再発見の観点から、愛知の歴史や地場産業、伝統文化などを視野に入れ、愛知芸術文化センター以外に、「毛織物のまち」一宮市、日本六古窯の一つである「常滑焼」を持つ常滑市、東海道沿いの古いまちなみや「有松・鳴海絞」で有名な名古屋市有松地区を選定した。各会場では、地域の地場産業や伝統工芸に着想を得た作品が多く展示され、会場のまちなみと調和して、愛知の文化や伝統を掘り下げる展示となり、現代アートに加え、地域の魅力も楽しんでいただく愛知らしい芸術祭を提供できたと考えている。

さらには、県内の長久手市、蒲郡市、半田市、西尾市の4市でも移動型展示「ポップ・アップ!」を実施し、多くの方に現代アートに触れていただく機会となった。

*後援、助成、協賛、協力、会場提供、認定、関連事業、関連記事、カタログ等の発行物については、全てを表記することが困難なため、ここでは省いている。

*休館日及び観覧料が、会場や企画ごとによって異なるため、ここでは省いている。



展示風景 photo : ToLoLo studio



展示風景 photo : ToLoLo studio

4 映像事業

1910～20年代に興ったアヴァンギャルド映画を源流とする、映像表現の可能性を拡張するような実験的な動向に着目し、上映会の開催やオリジナル映像作品制作などの事業を行った。

アートフィルム・フェスティバル

第26回アートフィルム・フェスティバルは、特集「映画は、アクシデントではない」をメイン・プログラムに据えた。映像はともすれば事件や事故の決定的瞬間の記録を期待されるが、実際にはそれを撮り逃がしてしまうことの方が多いのではないか。そして、むしろ撮れなかったことへの痛恨の念や、事件の継承や検証、その本質を思索、探求するメディアとして、特質が現れているのではないか。こうした主旨から、ジャン＝リュック・ゴダール『映画史』（1988－98年）やアラン・レネ『夜と霧』（1955年）、酒井耕＋濱口竜介「東北記録映画3部作」（2011－13年）等の作品を上映し、このテーマを考察した。

また「愛知芸術文化センター・愛知県美術館オリジナル映像作品」最新第30作のSHIMURAbros『Butterfly upon a wheel』（2022年）初公開や、小特集として「コマ撮りの技法と表現の広がり」 「開館30周年拾遺集」を行った。

名 称：第26回アートフィルム・フェスティバル
会 期：2022年8月23日（火）、26日（金）～9月13日（火）
*月曜休館 [17日間]
会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）
入場者：934人
主 催：愛知県美術館
担 当：越後谷卓司（愛知県美術館主任学芸員）

関連行事：

トーク

日 時：2022年8月23日（火）午後7時30分～8時30分

参加者：41名

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

講 師：SHIMURAbros（アーティスト）

解説会

日 時：2022年9月13日（火）午後7時～7時30分

参加者：24名

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

講 師：越後谷卓司（愛知県美術館主任学芸員）

愛知芸術文化センター・愛知県美術館オリジナル映像作品の制作

本事業は“身体”を統一テーマに設定し、様々なジャンルの作家を登用して、その時代ごとに映像表現の先端状況を反映させてきた。2022年度は、制作担当作家の清原惟がシリーズ通算31作目となる『A Window of Memories』を制作した。本作は、人間には父方と母方の双方に祖母が存在する点に着目し、作家自身が2人の祖母に取材し、それぞれのライフ・ストーリーを、ドキュメンタリーとフィクションの手法を併用して描くことを試みた。

5 教育普及

教育普及事業の実施状況

2022年度の教育普及事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を講じながら、昨年度は中止していた一部事業を再開した。展覧会に伴う展示室での作品解説会（ギャラリートーク）はコレクション展で1回のみ実施し、代替としてスライドレクチャーを行った。またオンラインを活用したレクチャーを行った。館外のアウトリーチ事業では、移動美術館の実施に伴う教育事業として、講演会や学校団体鑑賞会を行い、また県内市町村等の要望に応じて行う「出前講座」を実施した。また、教育現場との連携では、小・中・高の教員対象の「小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会」、「鑑賞学習ワーキンググループ（研究会）」を開催した。鑑賞学習ワーキンググループの教員と協力して実施する子ども鑑賞会は、小・中・高校生対象の事業を実施した。視覚に障害のある方との鑑賞会は、コロナ禍での検証プログラムを実施したのち、本格的に実施を再開した。友の会との連携では、会員向け特別鑑賞会を実施した。友の会サポート活動は、会報誌の編集、モニター協力などの活動を行ったが、一部の活動は休止した。

出版・発行

企画展に関するもの：

「企画展の開催状況」のページを参照。

コレクション展に関するもの：

- 第1期コレクション展出品リスト A4両面二つ折り 4頁
- 第2期コレクション展出品リスト A3両面二つ折り・A4 6頁
- 第3期コレクション展出品リスト A3両面二つ折り 3頁

研究紀要・年報：

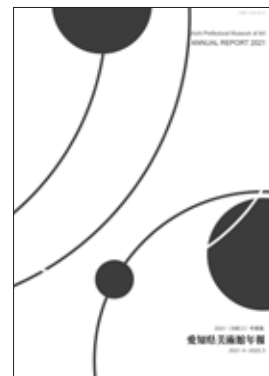
『愛知県美術館研究紀要 第29号』B5判 112頁

『愛知県美術館年報2022（令和4）年度版 第30号』A4判 62頁

『愛知県美術館研究紀要 第29号 木村定三コレクション編』B5判 156頁



研究紀要第29号



年報2022(令和4)年度版



研究紀要第29号木村定三コレクション編

事業関連イベント

コレクション展に関するもの：

「コレクション展等の関連イベント及びメディア掲載」のページ（20頁）を参照。

企画展に関するもの：

「企画展の開催状況」のページ（36-43頁）を参照。

移動美術館に関するもの：

「移動美術館」のページ（32-33頁）を参照。

映像事業に関するもの：

「映像事業」のページ（48頁）を参照。

教育プログラム

教員を対象としたもの：

小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会

- 第1回 2022年5月14日（土）アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）
・午後1時30分～2時
企画展展示説明
担 当：副田一穂（愛知県美術館主任学芸員）
・午後2時～午後2時45分
研修「あいパック ぴったりカード」
参加者：39人
担 当：藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）、鑑賞学習ワーキンググループ教員

第2回 2022年11月12日（土）中止

- 第3回 2023年1月28日（土）アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）
・午後1時30分～2時
企画展展示説明
担 当：石崎尚（愛知県美術館主任学芸員）
・午後2時～2時45分
レクチャー「愛知県美術館の教育普及事業」、子ども鑑賞会のビデオ上映
参加者：68人
担 当：藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）



小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会・研修風景

鑑賞学習ワーキンググループ

- 第1回 2022年4月30日（土）午前10時～午後3時30分
プログラム準備 参加者：11人
第2回 2022年5月14日（土）午後3時～4時30分
プログラム準備 参加者：15人
第3回 2022年7月30日（土）午後1時30分～3時30分
展覧会鑑賞他 参加者：12人
第4回 2022年10月29日（土）午後1時30分～3時30分
今後の活動計画他 参加者：9人
第5回 2022年11月19日（土）午後3時～4時30分
動画制作等 参加者：10人
第6回 2023年1月14日（土）午前10時～午後3時30分
プログラム準備 参加者：18人
第7回 2023年1月28日（土）午後3時～4時30分

プログラム準備 参加者：14人

場 所：アートスペースEF

（愛知芸術文化センター12階）

担 当：藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）

一般を対象としたもの

県政お届け講座

「愛知県美術館出前講座 美術館の仕事～もっと楽しむ美術と美術館」

日 時：2022年12月14日（水）午後1時30分～3時

参加者：25人

会 場：名古屋商工会議所ビル会議室

対 象：（公財）愛知県シルバーサービス振興会

担 当：深山孝彰（愛知県美術館企画業務課長）

幼児、児童、生徒を対象としたもの

子ども鑑賞会

①「かんじて見^みろ^ろって?」

小学生向けプログラム

日 時：2022年6月18日（土）午前10時～11時30分

参加者：15人

2022年6月18日（土）午後1時～2時30分

参加者：17人

内 容：コレクション展・ミロ展の鑑賞プログラム



「かんじて見^みろ^ろって?」(小学生)

中学生向けプログラム

日 時：2022年6月18日（土）午後3時～4時30分

参加者：3人

内 容：コレクション展・ミロ展の鑑賞プログラム



「かんじて見^みろ^ろって?」(中学生)

高校生向けプログラム

日 時：2022年6月25日（土）午前9時30分～午後3時30分

参加者：22人

内 容：ミロ展の鑑賞と造形プログラム



「かんじて見ろって?!」(高校生)

②「アートはばくはつだ!？」

小学生向けプログラム

日 時：2023年2月25日（土）午前10時～11時30分

参加者：9人

2023年2月25日（土）午後2時45分～4時15分

参加者：25人

内 容：コレクション展・岡本太郎展の鑑賞プログラム



「アートはばくはつだ!？」(小学生)

中学生向けプログラム

日 時：2023年2月25日（土）午後1時～2時30分

参加者：10人

内 容：コレクション展・岡本太郎展の鑑賞プログラム

高校生向けプログラム

日 時：2023年3月4日（土）午前9時30分～午後4時15分

参加者：30人

内 容：岡本太郎展の鑑賞と造形プログラム

担 当：藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）美術館鑑賞学習ワーキンググループ教員（6/18：8人、6/25：6人、2/25：8人、3/4：18人）、教員〔記録〕（6/18：1人、2/25：1人）、学生アシスタント（6/18：1人、6/25：1人、2/25：1人、3/4：2人）



「アートはばくはつだ!？」(高校生)

高校生向けオンライン鑑賞

オンライン鑑賞授業

日 時：

①2022年12月12日（月）午前10時40分～11時30分

コレクション展示室内作品鑑賞（絵画）

参加者：岐阜県立加茂高校1年 25人

②2022年12月12日（月）午前11時40分～12時30分

コレクション展示室内作品鑑賞（絵画）

参加者：岐阜県立加茂高校1年 24人

③2022年12月16日（金）午前8時55分～9時40分

コレクション展示室内作品鑑賞（絵画）

参加者：岐阜県立土岐紅陵高校1年 26人

④2022年12月16日（金）午前9時50分～10時35分

コレクション展示室内作品鑑賞（絵画）

参加者：岐阜県立土岐紅陵高校1年 19人

⑤2023年1月18日（水）午前8時50分～9時40分

コレクション展示室内作品鑑賞（絵画）

参加者：岐阜県立恵那南高校1年 12人

⑥2023年1月18日（水）午前9時55分～10時40分

屋外展示作品鑑賞（立体）

参加者：岐阜県立恵那南高校1年 12人

岐阜県立土岐紅陵高校1年 19人

⑦2023年1月27日（金）午後1時30分～2時20分

屋外展示作品鑑賞（立体）

参加者：岐阜県立土岐紅陵高校1年 23人

⑧2023年2月13日（月）午後1時10分～2時

屋外展示作品鑑賞（立体）

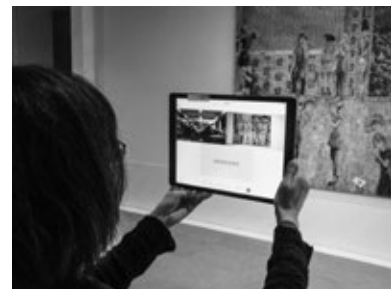
参加者：岐阜県立加茂高校1年 26人

⑨2023年2月13日（月）午後2時10分～3時

屋外展示作品鑑賞（立体）

参加者：岐阜県立加茂高校1年 20人

担 当：藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）、岐阜県立高校教員3名



オンライン鑑賞授業

視覚に障がいのある人を対象としたもの

視覚に障がいがある方とのプログラム

- ① 2022年6月23日（木）午後1時30分～2時45分 1人
 - ② 2022年11月10日（木）午後1時30分～3時30分 6人
 - ③ 2022年11月12日（土）午前10時30分～12時30分 7人
- 担当：藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）、深山孝彰（愛知県美術館企画業務課長）
- 解説ボランティア（アートな美 6/23：5人、11/10：8人、11/12：10人）
- 点訳ボランティア（六点会 6/23：4人、11/10、12：4人）

学校機関への対応（20人以下のグループも含む）

	小	中	高	大	専門	特別支援	一般	計
総人数	229	783	231	321		38		1602
総件数	7	25	5	12		3		52
学芸対応件数	5	4	3	9		1		22
学芸対応人数	191	202	163	253		11		820

各種団体による鑑賞への対応

団体鑑賞	小	中	高	大	専門	特別支援	一般	計
総人数	211	644	213	265	136		218	1687
総件数	5	13	4	7	5		9	43
学芸対応件数	4	4	2	5	4		3	22
学芸対応人数	182	202	145	210	96		63	898

博物館実習生の受け入れ

下記大学から学生を受け入れた。

愛知県立芸術大学、青山学院大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学、一橋大学 計11人

期間：2022年8月8日（月）～8月12日（金）

学生アシスタントの受け入れ

下記大学から学生を受け入れた。

愛知県立芸術大学、都留文科大学 計2人

期間：2022年5月～2023年2月

美術館友の会への協力

友の会のための特別鑑賞会

「企画展の開催状況」のページを参照。

動画配信

演題：「ミロ展」特別鑑賞会

期間：2022年5月15日（日）～7月3日（日）

視聴回数：95回

講師：副田一穂（愛知県美術館主任学芸員）

演題：総会記念講演会「愛知県美術館での展覧会の仕事について」

期間：2022年6月12日（日）～7月31日（日）

視聴回数：19回

講師：坪戸雅彦（愛知県美術館館長）

演題：国際芸術祭「あいち2022」特別鑑賞会

期間：2022年9月15日（木）～10月10日（月・祝）

視聴回数：48回

講師：中村史子（愛知県美術館主任学芸員）

演題：「展覧会 岡本太郎」

期間：2023年2月9日（木）～3月14日（火）

視聴回数：81回

講師：石崎尚（愛知県美術館主任学芸員）

会報誌『空中回廊』への寄稿

第53号 2022年9月発行

「特集展示 木村定三コレクション 文人趣味と煎茶」

中野悠（愛知県美術館学芸員）

「第2期コレクション展 追悼 設楽知昭」

深山孝彰（愛知県美術館企画業務課長）

「篠原猛史《真っ直ぐな曲線》」

坪戸雅彦（愛知県美術館館長）

第54号 2023年3月発行

「藤井さんちの手作りで趣味良い暮らし 藤井達吉と家庭手芸」

中村史子（愛知県美術館主任学芸員）

「木村定三コレクション《刺繍種子胎蔵界曼荼羅図》」

深山孝彰（愛知県美術館企画業務課長）



53号



54号

友の会会員によるサポート活動

所蔵作品管理サポート部会：中止

アンケート集計作業：3回 参加者延べ32人

広報印刷物発送作業：6回 参加者延べ26人

講演会等会場準備、受付：13回 参加者延べ26人

所蔵作品に関すること

○石崎尚

- ・(企画)「庄司達／新聞紙」愛知県美術館2022年度コレクション展、2022年度第1期、2022年4月1日～7月3日
- ・(企画)「生誕80年 あさいますお 不可視の後衛」愛知県美術館2022年度コレクション展、2022年度第2期、2022年10月29日～12月25日
- ・(執筆)「あさいますおの芸術と人生」『愛知県美術館研究紀要』29号、2023年2月
- ・(編集)「あさいますおの基礎資料」『愛知県美術館研究紀要』29号、2023年2月

○越後谷卓司

- ・(企画)「酒井耕／濱口竜介」愛知県美術館2022年度コレクション展、2022年度第1期、2022年4月1日～7月3日

○黒田和士

- ・(企画)「令和4年度新収蔵作品展」愛知県美術館コレクション展、2022年度第3期、2023年1月14日～3月14日

○栗名彩香

- ・(講演)「宮本三郎《裸婦》の発見」愛知県美術館友の会、愛知芸術文化センターアートスペースEF、2022年5月10日
- ・(講演)「絵画を消すとき、隠すとき」コレクショントーク、愛知芸術文化センターアートスペースEF、2022年6月12日
- ・(執筆)「パブロ・ピカソ《青い肩かけの女》の下層イメージ——赤外線反射分光イメージングによる調査・分析」
「Lower-layer Image of Woman in Blue Shawl by Pablo Picasso: Report and Analysis of Infrared Reflectance Imaging Spectroscopy」『愛知県美術館研究紀要』29号、2023年2月
- ・(執筆)「《裸婦》の発見——宮本三郎《家族》に覆われた絵画」『愛知県美術館研究紀要』29号、2023年2月

○副田一穂

- ・(インタビュー)「本当の美術とは 自問自答と作品の記録 斉と公平太」『AAC』113号、2022年9月
- ・(インタビュー)「来春に特集展示を控えた故・徳富満とはいかなる作家だったのか」『AAC』114号、2022年12月
- ・(企画)「徳富満——テーブルの上の宇宙」愛知県美術館2022年度コレクション展、2022年度第3期、2023年1月14日～3月14日
- ・(執筆)「メビウスの堂々巡りと、数学的なネジ」『徳富満——テーブルの上の宇宙』2023年1月
- ・(共著)「丸栄百貨店の画廊と展覧会」『愛知県美術館研究紀要』29号、2023年2月
- ・(共著)「パブロ・ピカソ《青い肩かけの女》の下層イメージ——赤外線反射分光イメージングによる調査・分析」

「Lower-layer Image of Woman in Blue Shawl by Pablo Picasso: Report and Analysis of Infrared Reflectance Imaging Spectroscopy」『愛知県美術館研究紀要』29号、2023年2月

○中野悠

- ・(企画)「木村定三コレクション 文人趣味と煎茶」愛知県美術館コレクション展、2022年度第2期、2022年10月29日～12月25日
- ・(企画・図録解説)「愛知県美術館・愛知県陶磁美術館 移動美術館2022 もじもえもじも」西尾市岩瀬文庫、2022年9月17日～11月27日
- ・(編集)「木村定三コレクション日本陶磁目録Ⅰ」『愛知県美術館研究紀要 木村定三コレクション編』29号、2023年2月

○中村史子

- ・(企画)「酒井耕／濱口竜介」愛知県美術館2022年度コレクション展、2022年度第1期、2022年4月1日～7月3日
- ・(インタビュー)「100年前から現在へ 女性美術家の語られ方と生き方と谷澤紗和子」『AAC』115号、2023年3月

○平瀬礼太

- ・(企画)「宮本三郎—隠された裸婦の謎」愛知県美術館2022年度コレクション展、2022年度第1期、2022年4月1日～7月3日

○藤島美菜

- ・(執筆)グスタフ・クリムト《人生は戦いなり(黄金の騎士)》
「KYOUBI Art Gallery 第4回 愛知県美術館」『教育美術』第83巻第10号(第964号)、10月号、2022年10月1日発行

○古田浩俊

- ・「作品紹介 M1130《銅鐸花入》——銅鐸としての視点から」
『愛知県美術館研究紀要 木村定三コレクション編』29号、2023年1月
- ・(執筆)作品解説:「グスタフ・クリムト《人生は戦いなり(黄金の騎士)》」/「小川芋銭《若葉に蒸さるる木精》」/「《銅鐸花入》」『AAKK』664～666号、愛知県安全運転管理協議会、2023年1月～3月
- ・(企画)「木村定三コレクション 熊谷守一」愛知県美術館コレクション展、2022年度第3期、2023年1月14日～3月14日

○深山孝彰

- ・(企画)「追悼 設楽知昭」愛知県美術館2022年度コレクション展、2022年度第2期、2022年10月29日～12月25日
- ・(執筆)「第2期コレクション展 追悼 設楽知昭」『空中回廊』(愛知県美術館友の会会報)第53号、2022年9月
- ・(講演)「愛知県を拠点に活動した画家 設楽知昭」愛知学院大学第199回モーニング・セミナー、2022年10月11日

- ・(インタビュー)「『複数の世界をひらく絵』を思考し探求する坂本夏子」『AAC』113号、2022年9月
- ・(執筆)「収蔵庫から：木村定三コレクション《刺繍種子胎蔵界曼荼羅図》『空中回廊』(愛知県美術館友の会会報)第54号、2023年3月

○森美樹

- ・(企画)「20世紀の西洋美術の名品 戦後ヨーロッパからアメリカへ」「木村定三 利休流無作法茶会」愛知県美術館2022年度コレクション展、2022年度第1期、2022年4月1日～7月3日
- ・(企画)「ピカソと同時代の作家たち」愛知県美術館コレクション展、2022年度第2期、2022年10月29日～12月25日

○由良濯

- ・(企画)「木村定三コレクション 大正名古屋の南画家 岡本柳南」愛知県美術館コレクション展、2022年度第3期、2023年1月14日～3月14日

展覧会等に関すること

○石崎尚

- ・(執筆)「岡本太郎と広島」、「岡本太郎略年譜」『展覧会 岡本太郎』NHK・NHKプロモーション、2022年7月
- ・(講演)「岡本太郎と愛知」(オンライン講座)、朝日カルチャーセンター名古屋教室、2023年1月29日

○芹澤なみき

- ・(執筆)「あの湯婆婆が「現実」に」『中日新聞』夕刊、2022年10月4日

○副田一穂

- ・(講演)「ミロが見た日本、日本が見たミロ」富山県美術館、2022年7月16日
- ・(講演)「知らないミロに、会いに行く」葵美術グループ、2022年12月5日
- ・(執筆)「文字」『キーワードで読み解く 西洋絵画を知る100章』

○中野悠

- ・(講義)「近代日本の視覚開化 明治」日本美術史概説、愛知県立芸術大学、2023年1月10日
- ・(執筆)「近代日本の視覚開化 明治——呼応し合う西洋と日本のイメージ」『AAC』115号、愛知芸術文化センター、2023年3月

教育普及に関すること

○藤島美菜

- ・(企画)小学生・中学生・高校生鑑賞プログラム、2022年6月
- ・(企画)小学生・中学生・高校生鑑賞プログラム、2023年2月、3月

- ・(企画)高校生オンライン鑑賞／岐阜県立加茂高校、岐阜県立土岐紅陵高校、岐阜県立恵那南高校、2022年12月12日、16日、2023年1月18日、1月27日、2月13日
- ・(講演・登壇)「愛知県美術館での触図制作と活用の事例」、研究会「ひらくラボ」、「Part2 美術館は、「絵にさわる」体験をどのようにデザインし、届けることができるか」、感覚をひらく—新たな美術プログラム創造推進事業、京都国立近代美術館、2023年3月12日

作品の保存等に関すること

○葉名彩香

- ・(講義・実習)愛知県立芸術大学「文化財学特講Ⅱ」、2022年9月6日

美術館運営に関すること

○副田一穂

- ・(講演)「コレクションのデータを公開するとどんないいことがあるのか——愛知県美術館の事例から」第46回東海三県博物館協会研究交流会、岐阜県博物館協会、2022年12月7日
- ・(講演)「事例報告(ギャラリー「曾我蕭白 奇想ここに極まれり」)」連携機関向けギャラリー作成ワークショップ、国会図書館(オンライン)、2022年12月12日

○中村史子

- ・(企画)愛知県博物館協会職員等研修会「博物館のリアルについて」、名古屋市博物館、2022年11月29日

映像事業に関すること

○越後谷卓司

- ・(プログラム解説)「『戦ふ兵隊』の、老人の顔」『第26回アートフィルム・フェスティバル』、2022年8月
- ・(講演)「『建設記録・愛知芸術文化センター』について」『第26回アートフィルム・フェスティバル』、2022年9月13日

国際芸術祭に関すること

○黒田和士

- ・(企画・執筆)「作家・作品解説」『国際芸術祭あいち2022』国際芸術祭「あいち」組織委員会、2022年

○芹澤なみき

- ・(企画)作家選出、企画実現『国際芸術祭あいち2022』国際芸術祭「あいち」組織委員会、2022年

○中村史子

- ・(企画)作家選出、企画実現『国際芸術祭あいち2022』国際芸術祭「あいち」組織委員会、2022年
- ・(講演)「『STILL ALIVE』とあいち」、2022年6月5日
- ・(執筆)「STILL ALIVEな色を味わう」『毎日新聞』、2022

年6月12日

- ・(講演)「キュレトリアル・ラウンドテーブル」、2022年7月31日
- ・(執筆)「新しい芸術祭の発信」『毎日新聞』、2022年8月14日
- ・(講演)「国際芸術祭「あいち2022」のちょっとディープな楽しみ方」文化芸術に関する連続講座2022、愛知県図書館、2022年8月14日
- ・(講演)「誰と対話するの? : 『国際芸術祭あいち』の場合」文化庁現代アートワークショップ セッション4: 国際的ダイアログを生み出すために、そのケーススタディ、2022年9月14日
- ・(執筆) 国際芸術祭「あいち2022」一宮会場記録集『びびびの備忘録』びびびの学校実行委員会、2023年1月
- ・(執筆)「作家・作品解説」『国際芸術祭あいち2022』『国際芸術祭「あいち2022」STILL ALIVE』国書刊行会、2023年3月31日刊行
- ・(執筆)「「真実」と「現実」のはざまを照らすもの」『国際芸術祭「あいち2022」STILL ALIVE』国書刊行会、2023年3月31日刊行

○由良濯

- ・(執筆)「作家・作品解説」『国際芸術祭あいち2022』国際芸術祭「あいち」組織委員会、2022年

その他

○越後谷卓司

- ・(審査) 越後谷卓司、深田晃司「ギャラリーN映画展」シネマスコーレ、2022年4月16日
- ・(執筆)「吉開菜央『Shari』」レビュー『芸術批評誌 REAR』48号、リア制作室、2022年4月
- ・(執筆)「中村英樹さんと「山形国際ドキュメンタリー映画祭」の思い出」『芸術批評誌 REAR』48号、リア制作室、2022年4月
- ・(執筆)「ゴダール監督「予言」の行方」『中日新聞』(夕刊) 2022年9月28日、「東京新聞」、2022年9月30日

○黒田和士

- ・(講演)「カール・アンドレ：ミニマリズムの歴史的文脈と展開」葵美術グループ、2022年5月9日

○副田一穂

- ・(トーク)「IN SITU 春の動植物園ツアー」東山動植物園、2022年5月20日
- ・(共著)『中部美術縁起』名古屋画廊、2022年6月
- ・(執筆)「写真家・後藤敬一郎の活動についての研究」『鹿島美術研究』年報38号別冊、2022年9月
- ・(非常勤講師)「博物館資料論」名古屋造形大学、2022年年度後期
- ・(トーク)「二藤建人「REVOLVING GRAVITY」オープン

ングトーク」gallery N、2022年10月29日

- ・(鼎談・執筆)「鼎談：デジタル化は美術館を変えていくのか?」『美術手帖』付録、2022年10月
- ・(登壇)「ゲームという体験をどう保存するか：企業・美術館・研究機関、それぞれのアプローチ」Art Collaboration Kyoto Partner's Talk、2022年11月19日
- ・(講演)「オカザえもんは芸術か?——斉と公平太の作品を読み解く」やさしいミュージアム講座、岡崎市美術博物館、2022年12月10日
- ・(登壇)「公開合同講義「あいちのオルタナティブってなんだ?」」拠点から——有馬かおる(キワマリ荘)と設楽陸(タネリスタジオ)展、名古屋造形大学、2022年12月19日
- ・(対談・執筆)「博物館とは立ち止まる場所——見えないものを見せる、内省の場へ」『芸術批評誌リア』49号、2022年12月
- ・(登壇・執筆)「「SHŪZŌ」はどう使う?アーティストと考える収蔵品データベース活用の道」アートプラットフォームジャパン(ウェブサイト)、2023年3月

○中野悠

- ・(講演)「社会人講演会 愛知県美術館学芸員」、兵庫県立姫路西高等学校、2022年10月15日

○中村史子

- ・(執筆)「河井寛次郎の手すりをてさぐる」『毎日新聞』、2022年4月10日
- ・(執筆)「ケルベロス・セオリー展レビュー」美術手帖WEB、2022年5月11日
- ・(執筆)「丸山のどか展レビュー」美術批評誌リア49号、2022年12月発行
- ・(推薦・執筆) VOCA2023推薦者、カタログ執筆、2023年3月
- ・(講演)「キュレーションからの提言」第73回美学学会全国大会シンポジウム「コレクティブの現在」京都工芸繊維大学、2022年10月15日
- ・(講演)「芸術文化と社会」大阪成蹊大学、2022年11月8日
- ・(執筆)「八重洲のガラスとラミネート 2020年以降のデジタル写真と都市の表層」T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO Website、2022年12月
- ・(登壇)シンポジウム「アール・ブリュットの時代」愛知県立芸術大学、2023年2月26日

○坪戸雅彦

- ・「絵画がある、こと」『Hirofumi Toyama "1, 2"』展カタログ、タカ・イシイギャラリー、26-27、34-35頁、2022年4月

○平瀬礼太

- ・(講演)「肖像画もつらいよ」葵美術グループ、2022年4月18日

○藤島美菜

- ・(講義)「博物館教育論」(全15回) 愛知県立芸術大学、2022年度前期
- ・(執筆)「ミュージアムでの美術教育(特集 ミュージアム・エデュケーションの現場から)」『教育美術』第83巻第6号(第960号)、6月号、2022年6月1日発行
- ・(講義) 至学館大学健康科学部子ども健康・教育学科「子どもと造形」学外実習 愛知芸術文化センター、2022年8月9日
- ・(審査)「第26回ちゅうでんりサイクル工作コンクール」、2022年9月27日、10月27日、12月17日
- ・(審査)「第18回人と自然にやさしいまち デザインコンテスト」、2022年10月11日、12月4日

○深山孝彰

- ・(講演)「愛知県美術館出前講座 美術館の仕事～もっと楽しむ美術と美術館」『県政お届け講座』名古屋商工会議所(公財 愛知県シルバーサービス振興会)、2022年12月14日

○森美樹

- ・(講義)「学芸員の仕事について」椋山女学園大学博物館実習 2022年6月28日
- ・(講義)「フランス美術におけるジャポニスム」令和4年度II期世界教養プログラム(基盤)「世界の美術と音楽」名古屋外国語大学、2022年11月8日
- ・(非常勤講師)「フランス美術」(全15回)名古屋外国語大学外国語学部フランス語学科 2022年度後期

美術館の防災体制

来館者等の「人」に対する正担当1名及び副担当1名、作品等の「物」に対する正担当1名を置く。

「人」に対する防災

名古屋市の防災計画において芸術文化センターが退避施設に選定されたことを受けて、2023年2月14日(火)に地震を想定した訓練を実施し、退避施設への移行を前提とした訓練内容を正確に実行できるか確認した。また全4回のシミュレーションミーティングを通じて、地震発生時の初動対応方針の見直しを行い、管理部および指定管理者(愛知県文化振興事業団)と防災体制を確認のうえ、「愛知県美術館災害時初動活動要領」の改正を行った。

「物」に対する防災

作品防災のためのプレインストーミングとして、一年間の振り返りと展示マニュアルの見直しをおこなった。また、収蔵庫の絵画ラックの落下・跳ね防止対策を行った。

愛知芸術文化センターの防災体制

愛知芸術文化センター共同防火・防災管理協議会

愛知県文化振興事業団に事務局を置き、防火・防災訓練(劇場発災想定と美術館発災想定の2回)ほか防災教育等を行った。

その他

全国美術館会議の防災活動

前年度に引き続き災害時連絡網組織東海ブロック副本部館を担当し、2023年3月11日(土)に災害時情報伝達訓練を行った。学芸員1名(副田一穂・愛知県美術館主任学芸員)が災害対策委員会委員として年3回の委員会に出席し、広域ブロック館のメーリングリストの立ち上げを行なった。

文化遺産防災ネットワーク推進会議への協力

日本博物館協会、全国美術館会議、歴史資料ネットワーク等27団体からなる文化遺産防災ネットワーク推進会議の情報収集等の活動に対し、愛知県博物館協会の災害対策ブロック館および全国美術館会議東海ブロック副本部館として協力した。

ギャラリー（貸館）

美術館ギャラリー利用状況

展示室利用状況

（単位：日数）

区分 月別	利用可能日数	満室数	利用数	利用率	展示室別利用日数												審査保管室別利用日数	
					A室	B室	C室	D室	E室	F室	G室		H室	I室	J室		第1	第2
											1	2			1	2		
2022年4月	26	312	253	81.1%	26	26	26	26	17	11	23	23	26	21	17	11	11	21
5月	26	312	311	99.7%	26	26	26	26	26	26	26	26	26	25	26	26	2	24
6月	22	264	254	96.2%	22	22	22	17	22	22	17	22	22	22	22	22	19	9
7月	26	312	292	93.6%	26	26	26	26	26	21	26	26	21	21	21	26	30	30
8月	26	312	312	100.0%	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	31	31
9月	26	312	312	100.0%	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	30	30
10月	26	312	312	100.0%	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	30	30
11月	26	312	306	98.1%	26	26	26	26	20	26	26	26	26	26	26	26	7	25
12月	22	264	239	90.5%	22	22	16	21	21	15	21	21	21	21	16	22	14	25
2023年1月	24	288	222	77.1%	24	24	24	18	18	18	18	18	18	18	12	12	22	8
2月	24	288	226	78.5%	24	18	23	17	24	24	18	18	18	18	12	12	26	8
3月	27	324	268	82.7%	27	27	22	22	21	21	17	23	27	27	17	17	9	19
計	301	3,612	3,307	91.6%	301	295	289	277	273	262	270	281	283	277	247	252	231	260

展覧会種別利用状況及び入場者数

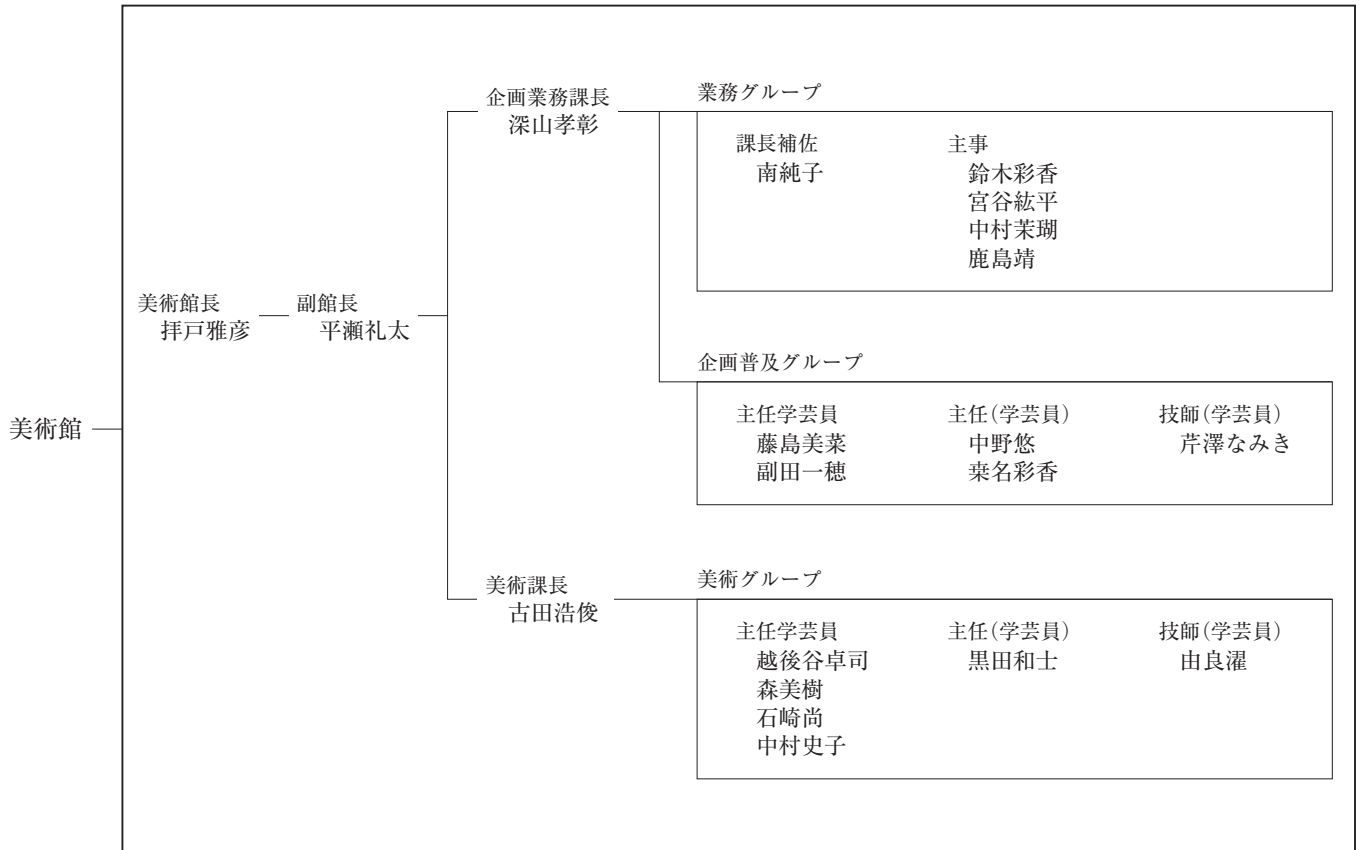
区分 月別	展覧会別利用件数（件）										入場者数 （人）
	総合展	絵画展	彫刻展	工芸展	書道展	デザイン展	写真展	版画展	計		
2022年4月	7	6	1	2	3	0	0	0	19	22,153	
5月	9	0	1	2	3	0	0	1	16	29,647	
6月	10	4	1	0	2	0	0	0	17	22,021	
7月	3	1	0	0	1	0	0	0	5	17,294	
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10月	5	4	0	0	1	0	1	0	11	13,340	
11月	8	3	0	0	7	0	2	1	21	19,866	
12月	13	1	0	1	2	0	0	0	17	33,565	
2023年1月	3	0	0	0	2	2	0	0	7	10,424	
2月	7	1	0	0	3	0	1	0	12	33,193	
3月	6	2	1	1	6	0	2	0	18	27,801	
年度計	71	22	4	6	30	2	6	2	143	229,304	

※利用件数は展覧会の初日が属する月で整理し、入場者数は当該月で整理。

組織および職員構成

組織図

(2022年4月1日現在)



愛知県美術館職員名簿

館長	拝戸雅彦	美術課長	古田浩俊
副館長	平瀬礼太	主任学芸員	越後谷卓司
企画業務課長	深山孝彰	主任学芸員	森美樹
課長補佐	南純子	主任学芸員	石崎尚
主事	鈴木彩香	主任学芸員	中村史子
主事	宮谷紘平	主任(学芸員)	黒田和士
主事	中村茉莉	技師(学芸員)	由良濯
主事	鹿島靖		
主任学芸員	藤島美菜		
主任学芸員	副田一穂		
主任(学芸員)	中野悠		
主任(学芸員)	粟名彩香		
技師(学芸員)	芹澤なみき		

関係委員会名簿

※2023年3月31日現在（五十音順）

愛知県美術館専門委員会委員

氏名	所属・職名
浅野芳夫	公益財団法人愛知県文化振興事業団愛知県芸術劇場館長兼舞台技術部長
加藤磨珠枝	立教大学教授
◎ 倉地久	愛知県立芸術大学美術学部長
小林克敏	愛知県美術館友の会会長
鈴木俊二	愛知県小中学校長会会長
園田直子	国立民族学博物館人類基礎理論研究部長
高北幸矢	清須市はるひ美術館長
津坂昌樹	名古屋市美術館長
寺尾晶子	中日新聞社事業局文化事業部長
野々川房子	日本メナード化粧品（株）常務取締役（メナード美術館アート・プロデューサー）
速水豊	三重県立美術館長
山田美佐子	元稲沢市荻須記念美術館長

◎は委員長

愛知県美術館専門委員会（ギャラリー部会）委員

氏名	所属・職名
伊藤弘憲	公益財団法人愛知県文化振興事業団常務理事兼事務局長
大塚道男	彫刻家
尾崎登紀子	稲沢市荻須記念美術館長
◎ 高北幸矢	清須市はるひ美術館長
根木剛	名古屋市博物館総務課長
平木充裕	公益財団法人名古屋市文化振興事業団市民ギャラリー矢田館長
宮田健秀	公益財団法人名古屋市文化振興事業団市民ギャラリー栄館長

◎は部会長

愛知県美術館美術品収集委員会委員

氏名	所属・職名
天野一夫	美術評論家
植松由佳	独立行政法人国立美術館国立国際美術館学芸課長
加藤弘子	東京都現代美術館事業企画課長
蔵屋美香	横浜美術館長
◎ 速水豊	三重県立美術館長

◎は委員長

愛知県美術館美術品収集委員会（オリジナル映像部会）委員

氏名	所属・職名
◎ 天野一夫	美術評論家 豊田市役所職員
岡田秀則	国立映画アーカイブ主任研究員
橋本梓	独立行政法人国立美術館国立国際美術館 学芸課 美術室長
林緑子	シアターカフェ 代表

◎は部会長

愛知県美術館年報 31号 2022年度版

2024年3月発行

編集・発行

愛知県美術館

〒461-8525

愛知県名古屋市東区東桜1-13-2

Tel : 052-971-5511(代)

<https://www-art.aac.pref.aichi.jp/>

デザイン・レイアウト・印刷

共生印刷株式会社

Aichi Prefectural Museum of Art Annual Report 2022, no. 31

Published in March 2024

Edited and Published by Aichi Prefectural Museum of Art

1-13-2, Higashisakura, Higashi-ku, Nagoya, Aichi,

461-8525, JAPAN

Tel: +81-52-971-5511

<https://www-art.aac.pref.aichi.jp/>

Printed by Kyosei Printing Co., Ltd.

©2024 Aichi Prefectural Museum of Art